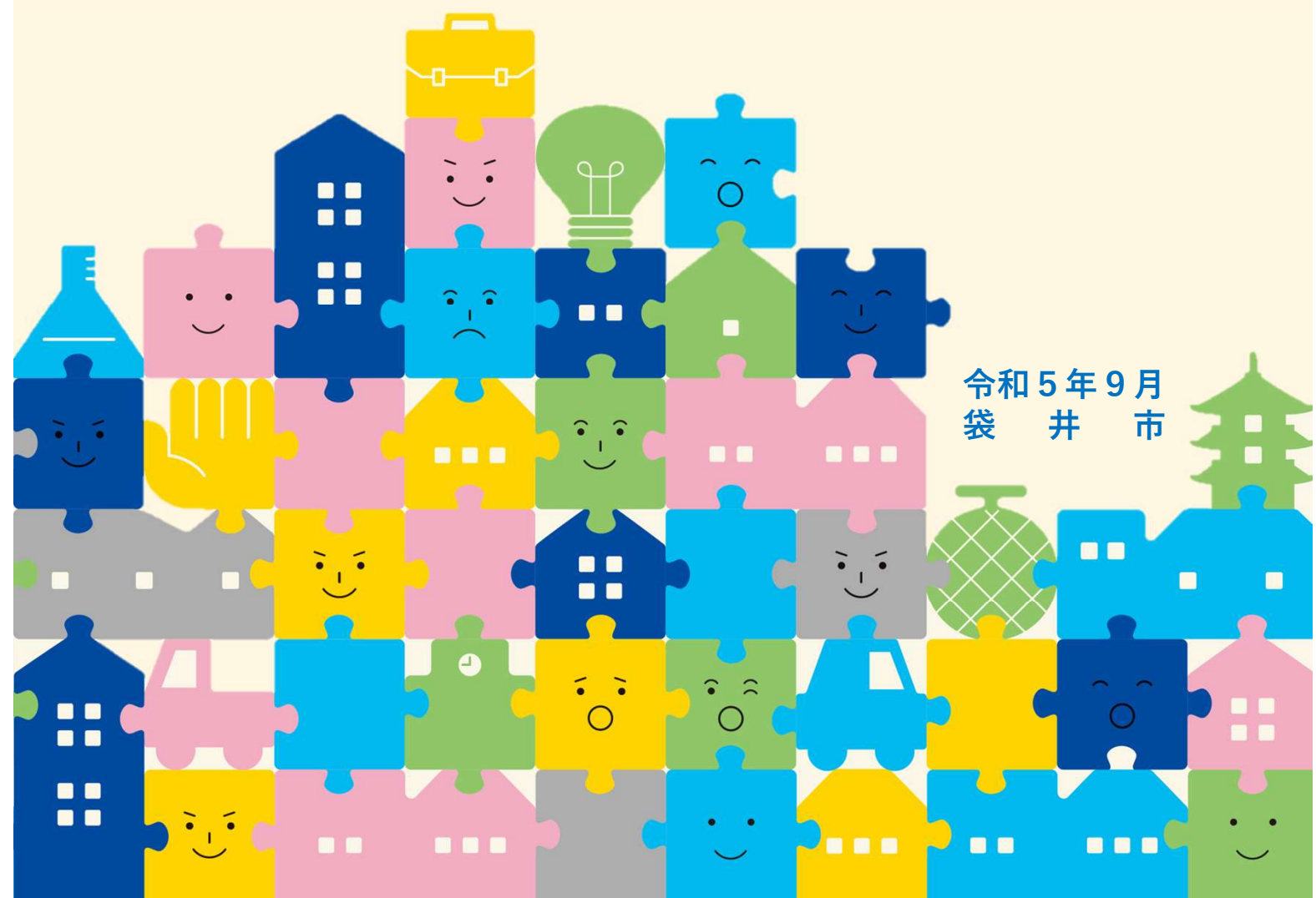


第2期輝く“ふくろい”
まち・ひと・しごと創生総合戦略

やらまいか REPORT2023

～令和4年度進捗状況報告書～



令和5年9月
袋井市

第1章	全体のまとめ	3
第2章	人口動態	4
第3章	総合戦略 [3つの挑戦/政策パッケージ]	6
挑戦1	「ふくろい人」ひとづくりへの挑戦	8
挑戦2	「しっかり稼ぐ」しごとづくりへの挑戦	14
挑戦3	「支え合い」誰もが活躍するまちづくりへの挑戦	20
第4章	戦略を支える取組	26
第5章	地方創生交付金の活用状況など	28

1 人口動態の概要

(1) 本市人口は88,278人（R5.4.1現在）となり、コロナ禍での婚姻・出産控えなどにより、出生数が引き続き年間600人台で推移したほか、死亡数が900人を超え、自然増減の減少が拡大した。一方、日本人が転入超過（R4▲14人→R5+53人）に転じたほか、**外国人の人口が643人の増加**となり、**自然増減が減少する中での人口維持を下支え**しており、**人口ビジョンで設定した目標人口に対して、目標推計人口を上回る水準を維持**している。

(2) 昨年度は、子育て世帯の転出入が「概ね均衡」に好転。国が、デジタル田園都市国家構想（全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会を目指す）総合戦略を示したほか、新型コロナウイルスの感染拡大やデジタル化の進展により、自然豊かなゆとりのある生活環境に魅力を感じる人や**テレワークにより転職せずに地方で働ける人が増加**するなど、**地方暮らしへのニーズが全国的に高まって**きている。

(3) 合計特殊出生率や他市町との比較は、県の統計データが公表された後（今秋公表予定）改めて整理します。

2 総合戦略（政策パッケージ）の概要

総合戦略では、本市の人口ビジョンに掲げる将来目標人口の実現や総合計画の早期実現に資する取組を加速させるほか、人口減少を抑制していくための「抑制戦略」と人口が減少する社会においても市民が快適に暮らし続けられるための「適応戦略」を“3つの挑戦（政策パッケージ）”として掲げ取り組んでいる。

挑戦1 「ふくろい人」人づくりへの挑戦

- 個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させるため、学習アプリを活用して、基礎学力の定着を目指す**個別最適な学びへの効果や取組状況を学習カルテとして可視化**することで、児童生徒の主体的な学びへの効果を検証をした。
- 市内県立高校と特別支援学校との連携協定に基づき、**地域活性化に向けた高校生の発意をカタチにする**ため、それを応援したい地域の大人を繋げるプロジェクトを支援した。
- 首都圏で活躍する本市ゆかりの方々との交流を通じて、**新たな分野や夢に向かって挑戦する人を応援する機会を創出**した。

評価



いい調子です

(3.6点)

挑戦2 「しっかり稼ぐ」しごとづくりへの挑戦

- ふくろい産業イノベーションセンターにおいて、企業が持つビジネスアイデアや課題提案を通じた分野の垣根を超えた交流機会として「**ふくろい産業イノベーションピッチ**」を開催した。
- ふるさと納税返礼品を取扱う市内事業者らとともに首都圏のイベント「**青山ファーマーズマーケット**」に出店し、市場ニーズの把握や新たな市場の開拓に向けた交流機会の創出を図った。
- 市内の食や観光資源を紹介した動画を製作したほか、**観光地などで撮影した写真や動画を募り、SNSを活用したコンテストを開催**するなど、市民参加型のシティプロモーションの充実・強化を図った。

評価



いい調子です

(3.8点)

挑戦3 「支え合い」誰もが活躍するまちづくりへの挑戦

- 人生100年時代の地域経営のあり方に関する調査研究では、官民共創ワーキンググループにおいて、**学校や花をテーマとした共創の実践**をはじめ、各種イベントでの試行実証を実施した。
- 地域コミュニティ活動の情報発信を強化するため、**コミュニティセンターのLINE公式アカウントや地域版ホームページを活用した情報発信**を行った。
- 異文化への理解を深める講座や「**やさしい日本語**」研修会の開催、**外国人市民のための防災ハンドブックの配布**など、共生社会の推進に向けた取組を充実させた。

評価



もうひと踏ん張り

(3.4点)

3 創生会議の意見

よくできました
(5~4.5点)



いい調子です
(4.4~3.5点)



もうひと踏ん張り
(3.4~2.5点)



もっとがんばろう
(2.4~0点)



■外国人との共生とは、多様性のある社会の実現ということ。**多様性を語る際には、少数派の人たちの意見をよく聞く**必要があり、その意見をどのように取り込んで社会を発展させていくかということが重要。

■外国人との共生においては、互いの文化の理解が重要。**生活をする上での最低限のルールや「やさしい日本語教育」などの環境の充実強化が急務**。

■スポーツ（スポーツ教室など）は贅沢なものになりつつある。特に、外国人市民のご家庭にとっては、経済的な負担感が大きい場合も多く、**外国人の子は運動に苦手意識を持っている子が多い印象**。市民の健康管理の面からも心配。

■女性活躍や外国人との共生等、**アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）に十分注意してアンケート調査などにも取り組んでいく必要がある**。

■**社会連携の相談窓口が本市に設置されたことは画期的**。これまで熱意のある人がいても、その人の思いを受け止め、活躍をサポートする環境がなかった。やっと仕組みが現状に追い付いてきたという印象。今後の展開が期待できる。

■これまで続けてきたイベントをベースに考える50代以降の**イベント主催者と新たな価値観を持ったイベントに参画**したい若い世代との間で、**世代間ギャップが生じている**。

■ここ数年、本市のシティプロモーションが劇的に良くなっている。SNSの投稿ややらまいか通信などを使って**知らない人にも自分たち市民が仲間内に拡散（間接的に伝えることが）**できることが良い。デジタルを活用して発信・共有することで、**地域活動等に参加できなかった人に活動の魅力や報告ができ、次の参加を促すことができる**。

1 現状と課題

(1) 本市人口は88,278人 (R5.4.1現在) となり、コロナ禍での婚姻・出産控えなどにより、出生数が引き続き年間600人台で推移したほか、死亡数が900人を超え、自然増減の減少が拡大した。一方、日本人が転入超過 (R4▲14人→R5+53人) に転じたほか、**外国人の人口が643人の増加**となり、**自然増減が減少する中での人口維持を下支え**しており、人口ビジョンで設定した目標人口に対して、**目標推計人口を上回る水準を維持**している。

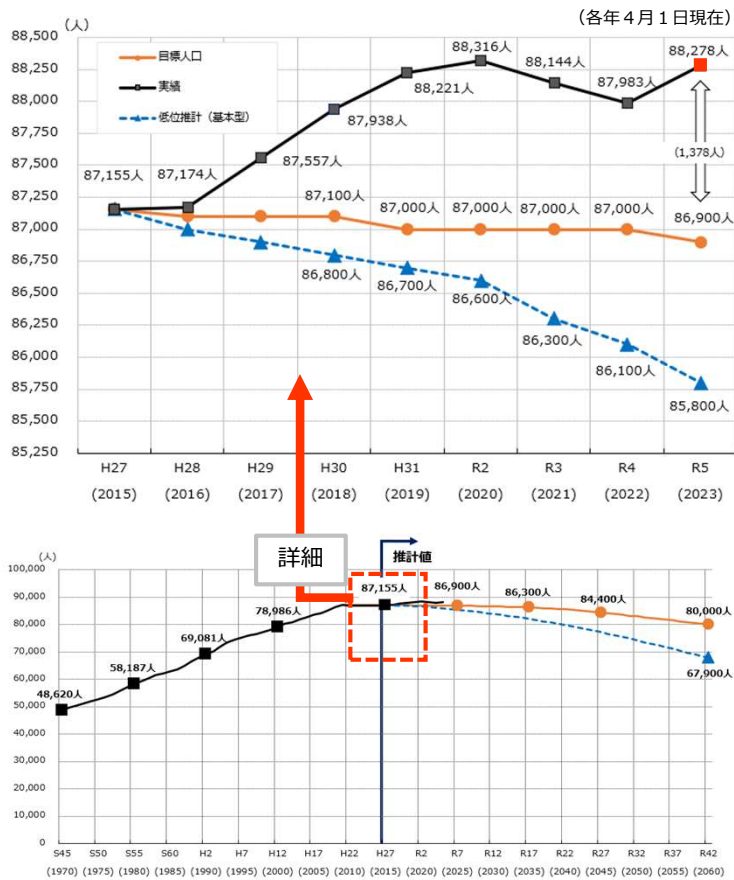
(2) 昨年度は、子育て世帯の転出入が「概ね均衡」に好転。国が、デジタル田園都市国家構想 (全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会を目指す) 総合戦略を示したほか、新型コロナウイルスの感染拡大やデジタル化の進展により、自然豊かなゆとりのある生活環境に魅力を感じる人やテレワークにより転職せずに地方で働ける人が増加するなど、**地方暮らしへのニーズが全国的に高まってきている**。

(3) 合計特殊出生率や他市町との比較は、県の統計データが公表された後 (今秋公表予定) 改めて整理します。

2 人口推計

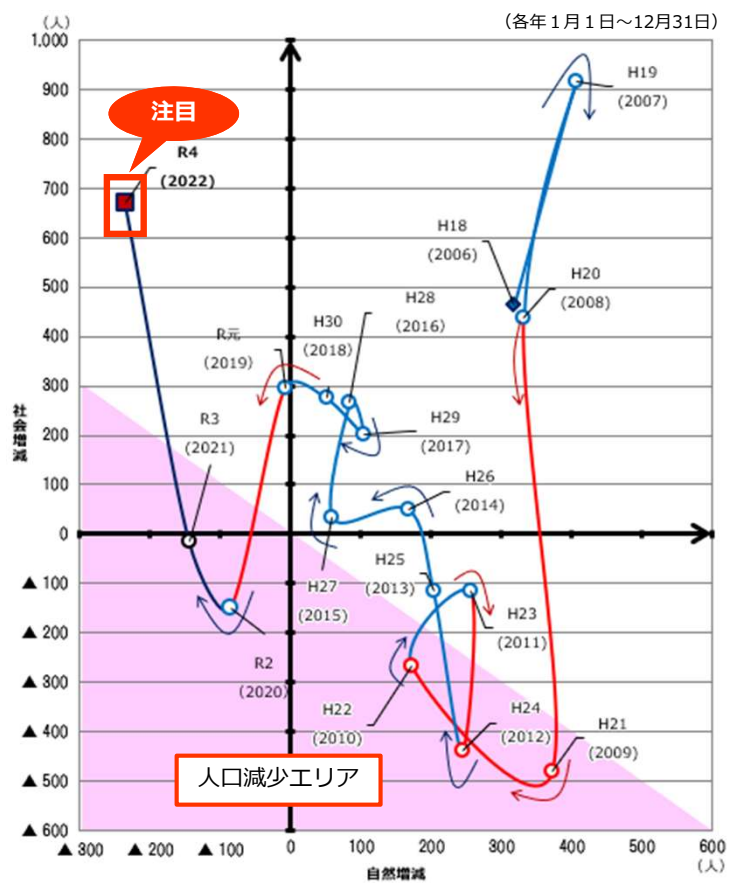
(1) 人口推移

人口は増加 (前年比+295人) したものの**外国人人口の増加が下支え** (前年比+643人)



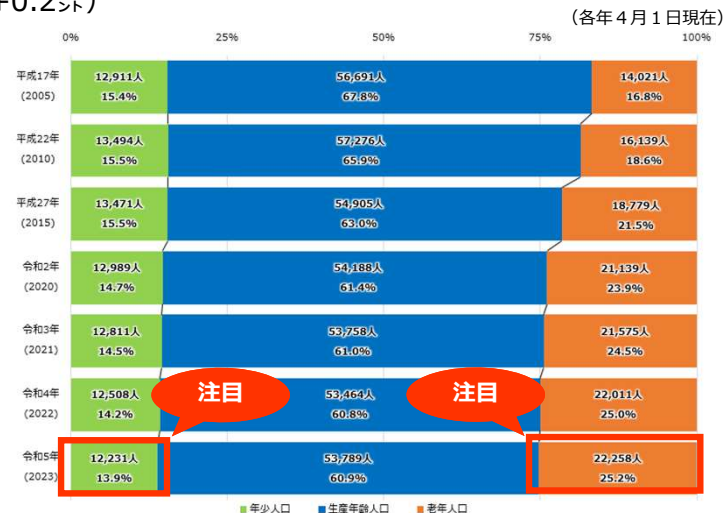
(3) 自然増減と社会増減

自然増減が減少 (前年比▲236人) するもそれ以上に**社会増減が増加** (前年比+671人)



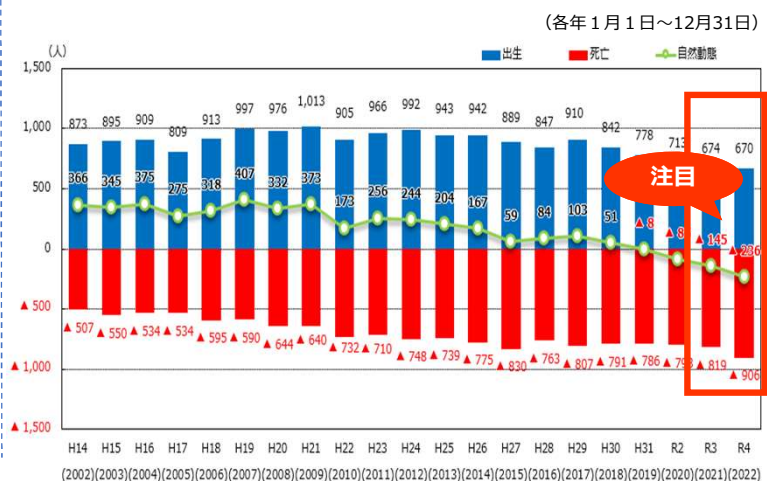
(2) 3区分別人口の推移

少子高齢化が進行 (前年比年少人口▲0.3%、老年人口+0.2%)



(4) 自然増減の推移

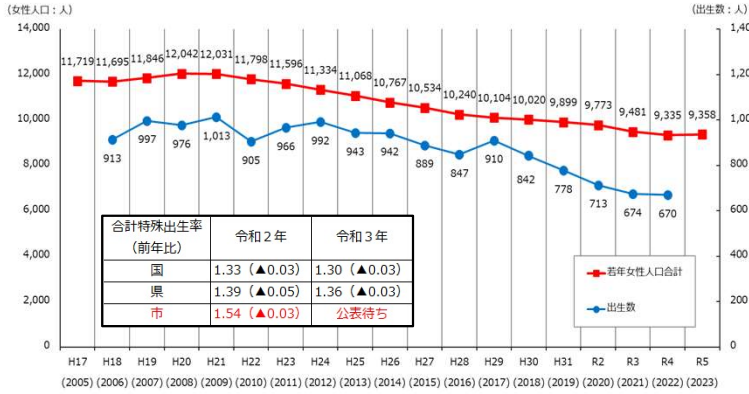
出生数が引き続き600人台で推移 (前年比▲4人) し、自然増減の減少数が拡大



3 出生に関する状況

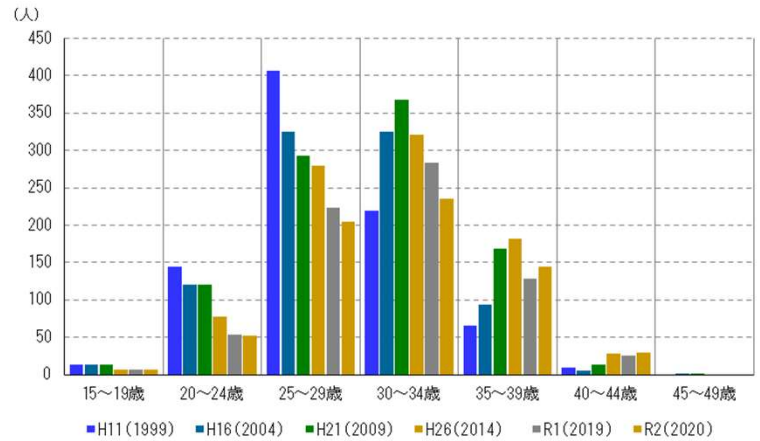
(1) 若年女性人口と出生数の推移

若年女性人口は、平成20年度（14年）ぶりに増加に転じた（前年比+23人）



(2) 母親の5歳階級別出生数の推移

20歳代の出産が減少
30～34歳代の出産が最多、晩産傾向が依然強い

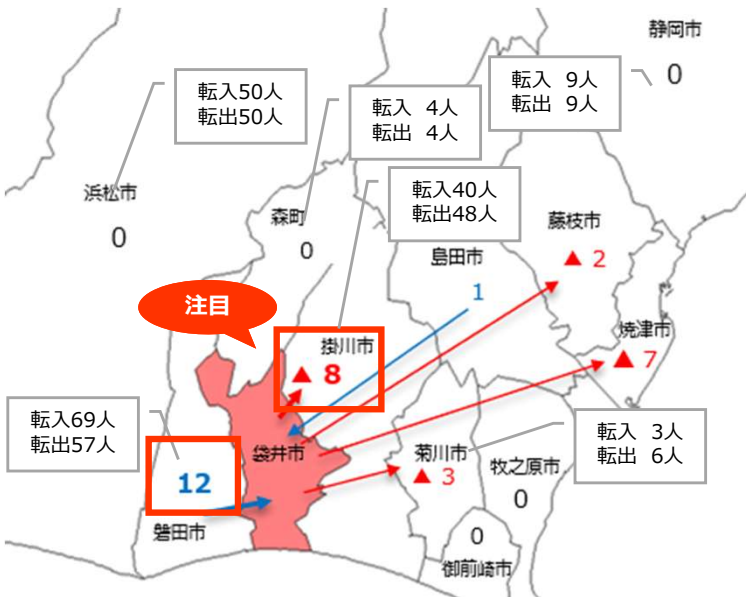


4 子育て世代の動向

(1) 子育て世帯（0～9歳）の転出入状況

令和4年の子育て世帯の転出入は概ね均衡に好転

(令和4年1月1日～12月31日)



(2) 5歳階級別増減人数

5年間の差分では、子育て世帯の転出超過傾向が続く

(各年4月1日現在)

注目	H30	R5	増減
年少			
0～4歳	4,249	3,506	-
5～9歳	4,524	4,149	▲100
10～14歳	4,538	4,576	52
15～19歳	4,294	4,505	▲211
生産年齢			
20～24歳	4,228	4,318	24
25～29歳	4,872	4,717	▲155
30～34歳	5,959	5,104	▲855
35～39歳	6,266	5,866	▲400
40～44歳	6,712	6,225	▲487
45～49歳	6,331	6,651	▲320
50～54歳	5,060	6,382	▲1,322
55～59歳	5,031	5,054	▲23
60～64歳	5,557	4,967	▲590

5 他市町との比較

(1) R5県人口推計とR2国勢調査の比較

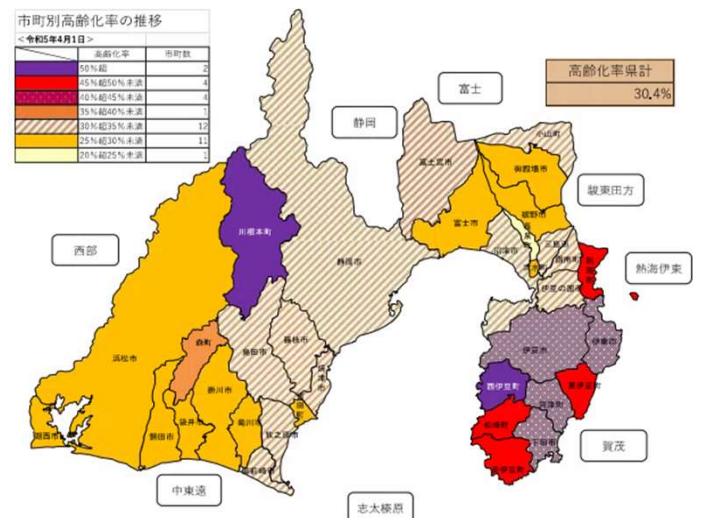
全市町で人口が減少 ※県内35市町で最も減少率が低い

減少数 (人)		減少率 (%)	
1	静岡市 ▲14,652	1	川根本町 ▲8.3
2	浜松市 ▲10,617	2	西伊豆町 ▲7.5
3	沼津市 ▲5,288	3	松崎町 ▲7.0
4	富士市 ▲4,090	4	河津町 ▲6.5
5	御殿場市 ▲3,403	5	南伊豆町 ▲5.5
6	富士宮市 ▲2,813	6	熱海市 ▲5.3
...
10	磐田市 ▲2,187	29	掛川市 ▲1.4
...	...	30	浜松市 ▲1.3
16	掛川市 ▲1,621	31	磐田市 ▲1.3
...
35	袋井市 ▲19	35	袋井市 ▲0.0

(2) 県内高齢化率調査

県の高齢化率は過去最高の30.4%

※袋井市 = 25.2% (県内23市で一番「若いまち」)



(3つの挑戦)

(戦略の柱と施策の方向性)

(挑戦1)
「ふくろい人」
ひとづくりへの挑戦

次代の袋井を支えるために学び、挑戦する人材を地域ぐるみで育て、呼び込む環境づくりに挑む

1-1 新しい時代を生き抜く人づくり

技術革新や国際化が進展する時代に自ら考え、学び、行動する力を持った人材を育てるため、「確かな学力」を身につけるとともに「袋井で暮らす豊かさ」への理解と愛着を深める教育を地域ぐるみで取り組む。

1-2 産業や社会を支える人づくり

技術革新や働き方改革の進展により産業、社会の在り方が変化していく中で活躍できる人材を育てていくため、地域、産業界と高校・大学等が人材ニーズ等を共有・連携し、次代を担う人づくりに取り組む。

1-3 挑戦する人を応援する土壌づくり

高齢化、人口減少進展等により地域・社会の課題も山積する中、誰もが生涯を通じて学び、事業・産業や教養・文化などの活動のほか、暮らしを通じた多様な挑戦をすることで、これからも豊かさを共創し、実感し合えるまちづくりに向けたチャレンジを応援する環境を整える。

(挑戦2)
「しっかり稼ぐ」
しごとづくりへの挑戦

新技術や地域資源の活用により生産性の向上と生活の豊かさを両立する「ふくろい」ならではの暮らしの実現に挑む

2-1 新たな産業と地域社会づくり

Society5.0やSDGsなど、社会や産業の変化を好機として、地域の課題解決と持続的な産業発展を実現するため、地域内外の産学官連携等により、既存の事業活動等の効率化を図るとともに、新規・成長分野の開拓や新たな地域社会システム革新に向けたチャレンジを進める。

2-2 稼げる農業づくり

本市が強みを持つ産業分野である農業の一層の発展を実現するため、これまでの蓄積を基盤としつつ、新しい技術の積極的な活用や異業種との連携強化による生産性向上と付加価値の創出や国内外の販路開拓、ブランド力向上に取り組む。

2-3 「ふくろい」ならではの暮らしづくり

市民が誇りと愛着を持つ生活文化、地域資源を再確認・発掘し、世界や全国を視野に本市の魅力を伝えるものに磨き上げ、市民の定着や関係人口の増加につなげていくため、商品・プログラム開発などの魅力づくりに取り組むとともに、体験・交流機会の提供や環境整備、情報交流を推進する。

(挑戦3)
「支え合い」
誰もが活躍する
まちづくりへの挑戦

人生100年時代に全ての世代、外国人市民、誰もが元気に役割をもって活躍できる社会・地域の仕組みづくりに挑む

3-1 人生100年時代「全世代が活躍するまちづくり」

世代を問わず生涯を通じて全ての人々が意向、能力、健康状態に応じて活躍できるまちをつくるため、就労・活躍機会の拡大、健康維持・増進、環境の整備等に取り組む。

3-2 支え合う多様な仲間づくり

高齢化の進展下、介護、子育て、防災などで互いに支え合えるまちをつくるため、コミュニティセンター等を拠点として日頃から安心できる仲間づくり、互助の仕組みづくりを進める。

3-3 多様性を強みとするまちづくり

外国人市民や障がい者、女性の活躍が期待される中、高齢者、学生あるいは地域外に住む関係人口など多様な価値観を尊重し、多様性を本市の魅力や発展への活力としていくため、多文化共生、男女共同参画等の取組や環境整備を進める。

(主な取組)

(SDGs)

- 「確かな学力」向上プロジェクト (GIGAスクール構想、幼小中一貫教育ほか)
- 地域とともにある学校づくりプロジェクト
(コミュニティ・スクール推進事業、地域住民による放課後学習支援ほか)



- 高校魅力化プロジェクト(探究的な学び、職業教育の高度化ほか)
- 地域人材育成に向けた「知の拠点」活用プロジェクト
(新たな学科開設支援、デジタル人材等の育成ほか)



- ふくろい「やらまいか」プロジェクト
(アイデア創出支援、リカレント教育、創業・事業承継ほか)
- 文化芸術・スポーツ応援プロジェクト
(大会誘致、大会出場奨励制度、総合型地域スポーツクラブとの連携ほか)



- 地域の「稼ぐチカラ」向上プロジェクト
(産業イノベーションセンター設置、魅力ある個店づくりほか)
- 近未来技術等の社会実装プロジェクト
(エコパドリームプロジェクト、スマート自治体、スマートライフ推進ほか)



- 農業の未来を創るプロジェクト
(スマート農業の推進、担い手育成、地産地消の推進ほか)
- 世界で戦える農産品と新たなビジネスモデル創出プロジェクト
(販路開拓支援、付加価値向上支援、多様な販売モデルの推進ほか)



- 観光ビジネス創出プロジェクト
(新たな商品(観光ツアー)開発、スポーツイベントの開催支援ほか)
- ふくろいファンづくりプロジェクト
(SNSを活かした情報発信、ふるさと納税促進ほか)



- 生涯活躍のまちづくりプロジェクト
(人生100年時代の地域経営のあり方(仮称)の研究、健康経営の推進、高齢者の多様なニーズに応じた就労機会確保ほか)



- 支え合い・つながり創出プロジェクト
(まちづくり協議会の活動支援、NPOや市民活動団体の活動・連携支援、ICTを活用したコミュニティ形成の支援ほか)



- 「共創社会」加速化プロジェクト
(外国人市民への支援、男女共同参画社会の推進、子育てと仕事の両立支援障がい者への理解と地域の交流の支援ほか)



1-1 新しい時代を生き抜く人づくり

技術革新や国際化が進展する時代に自ら考え、学び、行動する力を持った人材を育てるため、「確かな学力」を身につけるとともに「袋井で暮らす豊かさ」への理解と愛着を深める教育を地域ぐるみで取り組む。

(1) 「確かな学力」向上プロジェクト

授業と家庭学習の連動を図るため、小中学校で導入した学習アプリを活用し、基礎学力の定着を目指す個別最適な学習の推進に向け取り組んだほか、自身の学習状況などを「学習カルテ」として可視化し、主体的な学びへの効果検証を行うなど、児童生徒が学びに向かう力の育成に向け推進を図った。今後の課題は、**ICTをより効果的に活用した学びの更なる充実**であり、教員や児童生徒を対象に行ったアンケート調査を踏まえ、引き続き学習アプリや授業支援アプリ等の効果検証を行うなど、引き続き、ICTを活用した学習を継続することにより、児童生徒の自ら学び、考え、行動する力の向上に取り組んでいく。

主な取組

★=地方創生推進交付金 ◆=新型コロナ臨時交付金

★未来の教育実証研究【教育企画課】

学習アプリを活用した新しい学習モデルの実証研究を実施

・一人ひとりに合った学習問題が出題される学習アプリ「navima」を活用した家庭学習

【対象】小学校9校、中学校3校 計12校

・学習アプリ「navima」の取り組み状況を可視化した学習カルテによる主体的な学びの効果検証※

【対象】小学校3校、中学校1校 計4校

児童生徒や教員を対象としたアンケート調査を実施

※地方創生推進交付金対象外

★小中学校英語力向上【学校教育課】

イングリッシュ・デイキャンプ：小3・4年生コース（2h/回、開催日7/27～29,12/10、参加者69人）

小5・6年生コース（2.5h/回、開催日7/27～29,12/10、参加者57人）

中学生コース（1h/回、開催日8/3、参加者30人）

チャレンジコース（1h/回、開催日8/4、参加者32人）

英検チャレンジ：開催日10/1、市内4会場

受験者410人（小学生111人、中学生299人）

合格者293人（小学生77人、中学生216人）

外国人指導助手派遣：市内小中学校にALTを配置

◆スマートスクール推進【教育企画課】

小中学校にICT支援員を配置し、ICTを活用した授業支援や校務支援、デジタル教材等の作成支援を実施
小学校 年間760回訪問、中学校 年間160回訪問



学習支援アプリを活用した学習



イングリッシュ・デイキャンプ

(2) 地域とともにある学校づくりプロジェクト

民間事業者らと連携して、市営プールを活用した水泳授業の試行実証を行い、学校プールのあり方を検討したほか、小学校でのアースキッズ事業や出前ECO教室の開催など、環境教育の充実、更に市内店舗の協力で実施する小学校お仕事体験などを実施した。今後の課題は、**学校と地域の更なる連携強化や地域住民のやりがいづくり**であり、学校と地域の連携を強化するために、地域学校協働活動推進員及び本部の運営体制の強化などに努め、地域住民のやりがいを創出するために、市内店舗の協力で実施する小学校お仕事体験など、地域住民が学校や児童・生徒と直接関わりの持てる機会を創出していく。

主な取組

★=地方創生推進交付金 ◆=新型コロナ臨時交付金

★学校プールリフレッシュ【教育企画課】

市営プールを活用した小学校水泳授業の試行実証：三川小学校（利用施設：月見の里学遊館）

【実施日】6/6、13、20、27、7/4、11

袋井西小学校（利用施設：袋井B&G海洋センター）

【実施日】9/5、12、26

浅羽北小学校（利用施設：風見の丘）

【実施日】6/9、16、30

★環境教育の推進【環境政策課】

アースキッズ事業：市内小学校9校、小学4・5年生671人

出前ECO教室：市内小・中学校（実施15回、参加者1,215人）

市民団体（実施37回、参加者1,392人）

エコパを活用した環境教育：小学校（12校、参加者800人）、中学校（1校、参加者10人）

★ブックスタート、セカンドブック、サードブック【生涯学習課】

ブックスタート（7か月児相談時）：実施24回、配付数653冊

セカンドブック（2歳児フッ素塗布時）：実施24回、配付数624冊

サードブック（新小学校1年生）：入学説明会時、保護者に子ども読書の重要性を説明

新小学校1年生に対し、本1冊とおすすめ図書リストを配付

・小学生お仕事体験【産業政策課】

袋井市内の小学4～6年生30人に対し、子どもたちの職業観や就労意欲を高めるため2日間で開催



出前ECO教室



サードブック

業績指標の評価

指標名	単位	基準値 (基準年)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度
全国規模の学力調査で全国平均を上回る科目の割合 (小6:国語・算数、中3:国語・数学) [↑] 【出典:学校教育課】	%	目標値	50.0	75.0	75.0	100.0	100.0	
		50.0 (R1)	中止	0	0			
英語検定3級相当以上の資格を有する生徒の割合 (中3) [↑] 【出典:学校教育課】	%	目標値	23.0	27.0	31.0	35.0	40.0	
		18.5 (R1)	25.3	23.9	23.6			
「授業がよく分かる」と答える児童・生徒の割合 (小5~中3) [↑] 【出典:学校教育課】	%	目標値	87.0	89.0	91.0	93.0	93.0	
		85.0 (R1)	87.6	86.0	90.0			
「将来の夢や目標を持っている」と答える児童・生徒の割合 (小6・中3) [↑] 【出典:総合計画、教育企画課】	%	目標値	90.0	80.0	81.0	82.0	83.0	
		78.4 (R1)	78.3	74.1	76.3			
「地域の行事に参加している」と答える児童・生徒の割合 (小6・中3) [↑] 【出典:学校教育課】	%	目標値	88.0	90.0	92.0	94.0	95.0	
		86.0 (R1)	72.7	76.6	74.4			
家庭教育学級・少年学級・地域青少年育成団体の参加者数 [↑] 【出典:生涯学習課】	人	目標値	900	900	950	950	1,000	
		900 (R2推計)	842	960	1,006			
親スキルアップ講座の参加者の満足度 [↑] 【出典:総合計画、すこやか子ども課】	%	目標値	91.5	93.0	94.5	96.0	97.0	
		90.0 (R1)	99.1	99.1	99.8			
歴史資料館(郷土資料館・歴史文化館・近藤記念館)の利用者数 [↑] 【出典:総合計画、生涯学習課】	人	目標値	17,800	17,400	17,600	17,800	18,000	
		17,000 (R1推計)	20,315	17,827	18,584			

評価基準	評価	評価基準		
		達成度※1	総合評価※2	
	よくできました	目標値以上	5点	5 ~ 4.5点
	いい調子です	目標値未満~70以上	4点	4.4 ~ 3.5点
	もうひと踏ん張り	70未満~基準値	3点	3.4 ~ 2.5点
	もっとがんばろう	基準値未満	1点	2.4 ~ 0点

※1 達成度は、目標値を100とした場合の達成度合いで評価
 ※2 総合評価は、業績指標の平均点で評価

総合評価

3.3点

TOPICS

子どもが自ら読書を楽しむまちを目指して

子どもたちが本に親しみを持ち、読書への関心を高めてもらえるよう、人が集まる様々な場所に図書館職員が出向き、おはなし会や本の貸し出しなどを行う「出張としょかん」を実施しています。

7月29日には、市内ボルダリング施設で開催し、会場にちなんで選ばれた“登る”をテーマにした絵本の読み聞かせを楽しんだ後ボルダリングの体験を行いました。



1-2 産業や社会を支える人づくり

技術革新や働き方改革の進展により産業、社会の在り方が変化していく中で活躍できる人材を育てていくため、地域、産業界と高校・大学等が人材ニーズ等を共有・連携し、次代を担う人づくりに取り組む。

(1) 高校魅力化プロジェクト

地域活性化に向けた高校生の発意をカタチにするため、それを応援したい地域の大人を繋げるプロジェクトを支援したほか、市内県立高校と特別支援学校との連携協定に基づき、特別支援学校の活動機会の拡大に向け、市内商業施設と連携し、生徒が作製した製品の店舗内への展示や、商品の棚出し、清掃などの職業体験を支援した。今後の課題は、**地域や社会が求める人材を育成する魅力ある学校づくり**であり、地域ぐるみでの支援体制の充実・強化に向け、多様な主体と連携強化に取り組んでいく。

主な取組

★=地方創生推進交付金

- ・ **高校生の夢応援プロジェクト** [企画政策課]
ふるさと納税型クラウドファンディング活用支援事業補助金を活用し、袋井高校パソコン部の生徒たちが自作したプロジェクションマッピングを、法多山に投影するプロジェクトへの寄付募集を実施した。
【寄付募集】12月～令和5年2月【実施日】4/9(日)
- ・ **袋井高校、特別支援学校との連携事業** [企画政策課]
袋井高校 : パソコン部のプロジェクションマッピングの実現に向けた支援
総合的な探究の時間(自ら地域のことを調べ、課題と解決策を探る取組)
・ 1・2年生合同講演会(開催日6/23、講師:企画政策課)
・ 1年生成果発表会(開催日1/19、出席:企画政策課、維持管理課、健康づくり課、市内民間事業者ほか)
・ 2年生成果発表会(開催日2/2、出席:企画政策課)
特別支援学校: 無印良品ノブレスパルク袋井店との連携事業
【開催期間】1/13～20
【実施内容】学校紹介パネルや作業製品の展示、商品の棚出し作業

★青少年リーダー養成 [生涯学習課]

青少年指導者養成事業「次世代リーダー育成塾」: 全3回(12/18、1/15、2/5)
参加者40人(高校生)



無印×特別支援学校の取組



袋井高校×プロジェクションマッピング

(2) 地域人材育成に向けた「知の拠点」活用プロジェクト

就職フェアでは、対面での開催を再開するなど、地元への就職を希望する学生の就職支援や企業の人材確保などの支援に取り組んだ。また、産業や地域を担う人材の育成に向け、静岡理科大学や静岡文化芸術大学と連携し、各種講座やワークショップなどを開催したほか、「海のにぎわい創出プロジェクト」では、既存のスポーツ施設を中心とした交流スペースのエリアデザインの検討や海プロフェスタでの浜崖研究に関する「土木研究体験」ブース出店などの連携を図った。

今後の課題は、**市民、企業、大学、行政の実践的な取組における連携強化**であり、地域学講座や海のにぎわい創出プロジェクトなどの地域資源も活用しながら、市、大学、地元企業等との連携強化と新たな交流機会の創出を図ることで、産業や地域を担う人材育成に取り組んでいく。

主な取組

★=地方創生推進交付金 ◆=新型コロナ臨時交付金

- ★ **静岡理科大学との連携事業** [企画政策課、生涯学習課、産業政策課]
地域学講座 : 「お茶×コト→モノ消費」をテーマに開催し、茶摘み体験などのフィールドワークやグループワークを通じて、事業提案など、地域課題解決や地域資源の活用に向けた取組を行った。
開催日8/4、8/5、8/16、8/25
参加者25人(大学生21人、生産者2人、農政課職員2人)
学術交流振興基金活用事業: 市民体験入学や公開講座、小学生を対象とした実験講座「お理工塾」、もじ・もじ・じっけんワークショップほか
学生フォーミュラ大会: 開催日: 9/6～10 来場者数8,945人
成績: EVクラスで1位
◆海プロフェスタ: 開催日: 11/3「土木研究体験」ブースを設け参加
- ◆ **静岡文化芸術大学連携** [企画政策課]
海のにぎわい創出プロジェクト: にぎわいスペースの構想
- ・ **高校生と企業を結ぶ合同企業説明会** [産業政策課]
開催日3/17、参加企業62社、参加者201人(R6.3卒業予定の高校生)
- ・ **いわた・ふくろい就職フェア** [産業政策課]
開催日2/22、参加企業48社、参加者48人(R5.3、R6.3卒業予定の大学、短大、専門学校生等)



地域学講座



学生フォーミュラ大会

業績指標の評価

指標名	単位	基準値 (基準年)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度
「高校生と企業を結ぶ合同企業説明会」及び「いわた・ふくろい就職フェア」への市内参加企業数 [↑] 【出典：総合計画、産業政策課】	社	目標値	31	32	34	36	38	
		31 (H30)	23	32	33			
市内高校及び大学の就業率 [↑] 【出典：産業政策課】	%	目標値	97.8	97.8	97.8	97.8	97.8	
		97.8 (H26-30 平均)	98.7	98.0	98.2			
理工科大学との協働活動の実施件数（累計） [↑] 【出典：企画政策課】	件	目標値	5	7	9	12	15	
		3 (H30)	7	11	15			
市民を対象にした学習機会数 [理工科大学主催] [↑] 【出典：生涯学習課】	回	目標値	38	38	39	39	40	
		37 (R1)	14	25	32			
高校生と協働した事業・イベント数（累計） [↑] 【出典：企画政策課】	回	目標値	2	4	6	8	10	
		4 (R1)	4	8	11			
地域防災への高校生の参加者数 [↑] 【出典：危機管理課】	人	目標値	1,900	1,950	2,000	2,050	2,100	
		1,902 (R1)	0 ※役員のみ	未実施	1,902			

評価基準	評価	評価基準	
		達成度※1	総合評価※2
よくできました		目標値以上	5点
いい調子です		目標値未満～70以上	4点
もうひと踏ん張り		70未満～基準値	3点
もっとがんばろう		基準値未満	1点

総合評価

4.0点

※1 達成度は、目標値を100とした場合の達成度合いで評価
 ※2 総合評価は、業績指標の平均点で評価

TOPICS

専門高校（農工商）3校の合同説明会開催

地域や社会が求める人材の広域での育成に向けて、ステージ発表や個別相談会などで県立専門高校の魅力を発信するため、8月6日(土)、袋井新産業会館キラットで「袋井商業高校」「磐田農業高校」「掛川工業高校」の専門高校3校が合同説明会を開催しました。

また、普通とは違う「自分らしい高校生活」を送ってみたい小中学生やその保護者の方などに向けて、8月4日(木)・5日(金)には「袋井商業高校」では夏の一日体験入学を開催しました。



フツートの高校生活でいいの!?

専門高校3校合同説明会

普通とは違う「自分らしい高校生活」を送るなら
専門高校（農業・工業・商業）という選択

1-3 挑戦する人を応援する土壌づくり

高齢化、人口減少進展等により地域・社会の課題も山積する中、誰もが生涯を通じて学び、事業・産業や教養・文化などの活動のほか、暮らしを通じた多様な挑戦をすることで、これからも豊かさを共創し、実感し合えるまちづくりに向けたチャレンジを応援する環境を整える。

(1) ふくろい「やらまいか」プロジェクト

挑戦する人を応援する取組として、首都圏で活躍する本市ゆかりの方々との交流を通じて、新たな分野や夢に向かって挑戦する人を応援する機会を創出したほか、創業希望者や経営者などを対象に、各種経営セミナーや創業支援相談を実施した。今後の課題は、**新たなビジネスなどを通じて地域に貢献したいという創業意欲の醸成と、その想いを形にするための多様な主体による継続的な支援**であり、挑戦する人を応援し続けるまちを目指し、引き続き社会・経済情勢の変化に的確に対応しつつ、地域のニーズや実情に即した支援を実施していく。

主な取組

◆ = 新型コロナ臨時交付金

◆ 首都圏交流会事業 [企画政策課]

開催日：1/20 開催場所：都内「神田明神ホール」
参加者：93人（首都圏及び本市から）

◆ 創業支援の推進 [産業政策課]

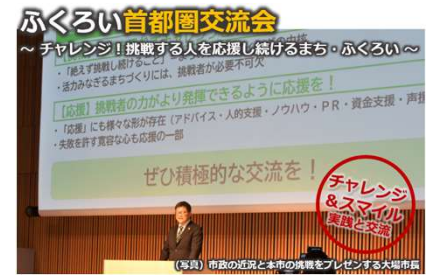
創業相談会：開催期間9月～1月（全20回）、参加者20人
創業・経営セミナー：開催日8/27、9/3、9/17、10/1、10/15、11/5、11/26、12/3、12/17、1/21（全10回）参加者延べ589人

・ チャレンジショップ事業 [産業政策課]

チャレンジショップ概要：ショッピングセンターパティオ1階のテナントで出店可能期間は最長1年
出店者の概要：ハイカラ屋（古着物等販売、買取、レンタルなど）
お宝発掘 れんげ（ギフト品や食器類などのリサイクル品の無人販売）
Fujimondポディーバッグ（革製ポディーバッグ・スマホケースの販売）

・ 市民活動団体やNPO法人等の活動支援 [協働まちづくり課]

NPO等の提案事業の協働実施：補助事業・連携事業として10事業実施
NPO法人化への支援：情報提供や認証申請等を支援
「ふらっと」の管理運営：活動情報発信、活動団体のマッチングの相談対応など



ふくろい首都圏交流会



創業（経営）セミナー

(2) 文化芸術・スポーツ応援プロジェクト

ビックイベントなどで培った経験をレガシーとして継承したスポーツイベントの開催やエコパなど市内スポーツ施設の更なる利活用として、スポーツキャンプトライアルなどを実施し、地域の賑わい創出に取り組んだ。また、子ども達が文化活動の楽しさを体験できるよう大学と連携し、創作体験ワークショップを実施した。今後の課題は、**スポーツや文化・芸術に触れる機会の更なる創出**であり、スポーツや文化・芸術活動の振興を通じた、市民の参画や団体等との連携を促進することにより、更なる交流人口の拡大を図り、暮らしの豊かさの創出に取り組んでいく。

主な取組

★ = 地方創生推進交付金 ◆ = 新型コロナ臨時交付金

◆ スポ泊応援キャンペーン事業 [スポーツ政策課]

スポーツを目的とした旅行で、市内宿泊施設に宿泊した方を対象に、最大5,000円/泊を助成
宿泊人数：1,225人、宿泊数：1,509泊

◆ スポーツキャンプトライアル事業 [スポーツ政策課]

市内の宿泊施設やスポーツ施設を活用し、2つの団体が合宿を行った。
国士館大学準硬式野球部：8/14～19、38人、愛野公園野球場・風見の丘（プール）
吉原・御殿場西高校 女子バスケット：2/11～12、18人、さわやかアリーナ、浅羽体育センター

◆ 袋井クラウンメロンマラソン大会 [スポーツ政策課]

実走形式の部：開催日12/11、参加者1,701人、小笠山総合運動公園エコパ周回コース

◆ ラグビーレガシーの創出 [スポーツ政策課]

アザレア出張教室（タグラグビー）：開催期間12月～2月、参加者8団体
静岡ブルーレヴズプレシーズンマッチ：開催日11/26、市民40名を解説付きの観戦に無料招待
開催場所：エコパスタジアム

★ 静岡文化芸術大学連携（生涯学習課）

絵本ワークショップ：開催日8/19、20 参加者19人

・ 東京藝大交流事業（生涯学習課）

池公園デザインワークショップ：開催日8/6、7 参加者36人



スポ泊応援キャンペーン



池公園デザインワークショップ

業績指標の評価

指標名	単位	基準値 (基準年)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度
協働まちづくりセンターの登録団体数（市民活動団体） [↑] 【出典：総合計画、協働まちづくり課】	団体	目標値	50	50	50	50	50	
		53 (H30)	43	44	47			
NPO団体等が企業と連携し実施した事業数 [↑] 【出典：総合計画、協働まちづくり課】	件	目標値	10	8	9	10	11	
		11 (H30)	1	8	12			
協働まちづくり事業の提案件数（累計） [↑] 【出典：協働まちづくり課】	件	目標値	27	37	47	56	65	
		17 (R1)	23	30	40			
全国スポーツ大会の出場者数（累計） [↑] 【出典：総合計画、スポーツ政策課】	件	目標値	62	126	192	260	330	
		59 (R1)	18	62	123			
市内の運動施設の利用者数（エコパを除く） [↑] 【出典：総合計画、スポーツ政策課】	人	目標値	750,000	605,000	610,000	615,000	620,000	
		551,962 (R1)	487,943	583,346	692,561			
図書館の個人貸出利用者数 [↑] 【出典：総合計画、生涯学習課】	人	目標値	150,000	140,000	141,500	143,000	144,500	
		136,631 (H30)	138,965	150,172	150,239			
月見の里学遊館（水玉プール除く）とメロープラザの利用者数 [↑] 【出典：総合計画、生涯学習課】	人	目標値	200,000	128,800	144,800	161,400	161,900	
		157,744 (H30)	59,935	89,178	116,166			
全国文化芸術大会出場者数（累計） [↑] 【出典：生涯学習課】	人	目標値	10	15	20	25	30	
		4 (R1)	5	8	11			

評価基準	評価	評価基準		
		達成度※1		総合評価※2
		よくできました	目標値以上	5点
いい調子です	目標値未満~70以上	4点	4.4 ~ 3.5点	
もうひと踏ん張り	70未満~基準値	3点	3.4 ~ 2.5点	
もっとがんばろう	基準値未満	1点	2.4 ~ 0点	

※1 達成度は、目標値を100とした場合の達成度合いで評価
 ※2 総合評価は、業績指標の平均点で評価

総合評価

3.4点

TOPICS

「稼げる地域づくり」を目指したひとづくり

2月16日、袋井商工会議所青年部(YEG)の若手企業経営者たちが、コロナ禍でも稼げる地域づくりを目指し、地元事業者や市職員とともに地域活性化策を考える「風会議」を開催しました。

地域資源の活用や資金調達の方法なども含めた新たな事業プランを企画し、市長や商工会議所会頭などにプレゼンテーションしました。同笠海岸での賑わい創出策など、本会議で挙げた様々なアイデアは今後のまちづくりの参考にしていきます。



2-1 新たな産業と地域社会づくり

Society5.0やSDGsなど、社会や産業の変化を好機として、地域の課題解決と持続的な産業発展を実現するため、地域内外の産学官金連携等により、既存の事業活動等の効率化を図るとともに、新規・成長分野の開拓や新たな地域社会システムの革新に向けたチャレンジを進める。

(1) 地域の「稼ぐチカラ」向上プロジェクト

ふくろい産業イノベーションセンターにおいて、企業が持つビジネスアイデアや課題提案を通じた分野の垣根を超えた交流機会として「ふくろい産業イノベーションピッチ」を開催したほか、地元企業に対して大学の教員等による技術課題の解決支援などを行った。今後の課題は、**社会潮流の変化への対応と中小企業の成長をいかに結びつけることができるか**であり、産学官金が連携し伴走型の企業支援に取り組んでいくほか、新たなイノベーション喚起に向け、スタートアップ企業と地元企業のマッチングを促進し、地域や事業所が抱える課題解決を図るとともに、地域内取引の拡大を促すよう取り組んでいく。

主な取組

◆ = 新型コロナ臨時交付金

- ◆ **ふくろい産業イノベーション推進事業** [産業政策課]
 - 企業と大学教員との技術相談：41件
 - 企業と大学との共同研究：16件
 - ピッチイベント：開催日12/12、参加者101人 など
- ◆ **就職情報サイト整備** [産業政策課]
 - ふくろいdeあつまろう：掲載企業23社、アクセス件数9,129件
- ◆ **経営力強化推進アドバイザー設置** [産業政策課]
 - 実施期間4月～2月、相談事業者48事業者
- ◆ **デジタルスタンプラリー事業** [産業政策課]
 - ぐるっと袋井スマホdeスタンプラリー：実施期間7月～1月、参加店舗129店舗、参加者3,011人
- ◆ **創業支援の推進** [産業政策課]
 - 創業相談会：開催期間9月～1月（全20回）、参加者20人
 - 創業・経営セミナー：開催日8/27、9/3、9/17、10/1、10/15、11/5、11/26、12/3、12/17、1/21（全10回）参加者延べ589人
- ◆ **中心市街地等空き店舗対策事業** [産業政策課]
 - 空き店舗対策事業補助金：継続2件、新規8件



ふくろいdeあつまろう



ぐるっと袋井スマホdeスタンプラリー

(2) 近未来技術等の社会実装プロジェクト

LPWA（無線通信技術）を活用し小規模河川などの水位データの収集のほか、AI判定機能が搭載されたアプリを活用し、荒廃農地の現地調査業務の効率化に向けた試行実証など、新たな技術を組み入れた課題解決へのアプローチを試行した。今後の課題は、**急速に進展する革新的技術をいかに地域課題解決に活用していけるか**であり、引き続き関係企業や各種団体と連携し、新たな技術を組み入れたサービスの社会実装に向けた取組を実施・支援していく。

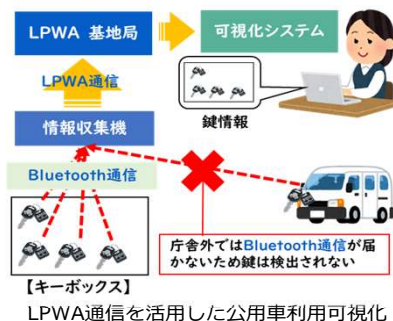
主な取組

★ = 地方創生推進交付金 ◆ = 新型コロナ臨時交付金

- ★ **LPWA通信を活用した実証事業** [ICT政策課]
 - 排水機場の水位と稼働状況の可視化：14箇所
 - 公用車の利用状況の可視化：本庁舎
- ◆ **スマートシティの推進** [ICT政策課]
 - オープンデータ利活用：自動生成システム利用、公開件数延べ900件
- ・ **スマートライフの推進** [環境政策課]
 - 新エネルギー機器導入促進奨励金：交付件数380件 など
- ・ **荒廃農地解消事業** [農政課]
 - タブレット端末でAI判定機能搭載の現地調査アプリ「ACTABA」を活用した実証実験を実施し、令和5年度からの導入を図った。



現地調査アプリ「ACTABA」



業績指標の評価

指標名	単位	基準値 (基準年)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度
製造品出荷額等（従業員4人以上）〔↑〕 【出典：総合計画、産業政策課】	億円	目標値	5,880	5,960	6,040	6,130	6,200	—
		5,880 (H29)	6,061 (R1)	5,727 (R2)	2月頃 公表			
企業立地件数（製造業）（累計）〔↑〕 【出典：総合計画、産業政策課】	件	目標値	2	4	6	8	10	
		1 (H30)	1	3	4			
静岡理科大学と市内企業の共同研究件数（累計） 〔↑〕【出典：総合計画、産業政策課】	件	目標値	5	10	15	20	25	
		5 (H30)	1	6	22			
経営革新計画の承認件数（製造業）（累計）〔↑〕 【出典：総合計画、産業政策課】	件	目標値	7	14	21	28	35	
		2 (H30)	13	18	30			
市、商工団体、金融機関の支援による創業件数（累計） 〔↑〕【出典：総合計画、産業政策課】	件	目標値	45	90	135	180	225	
		41 (H30)	47	85	163			
よろず支援拠点への相談件数（袋井市）（累計） 〔↑〕【出典：産業政策課】	件	目標値	154	308	462	616	770	
		154 (H30)	236	415	511			
卸売業・小売業及び宿泊業・飲食サービス業の売上 （収入）金額〔↑〕【出典：産業政策課】	億円	目標値	2,400	2,400	2,500	2,500	2,500	
		2,397 (H28)	2,397	2,397	3,091			
満足のいく雇用機会に恵まれていると思う人の割合 〔↑〕【出典：市民意識調査】	%	目標値	30.0	35.0	40.0	45.0	50.0	
		26.8 (H30)	36.3	42.8	39.1			
近未来技術等を活用した実証事業数（累計）〔↑〕 【出典：企画政策課、ICT政策課】	件	目標値	7	9	11	13	15	
		5 (R1)	4	8	11			

評価基準	評価	評価基準		
		達成度※1		総合評価※2
		よくできました	目標値以上	5点
いい調子です	目標値未満～70以上	4点	4.4～3.5点	
もうひと踏ん張り	70未満～基準値	3点	3.4～2.5点	
もっとがんばろう	基準値未満	1点	2.4～0点	

※1 達成度は、目標値を100とした場合の達成度合いで評価
 ※2 総合評価は、業績指標の平均点で評価

総合評価

4.6点

TOPICS

地域産業のDX化

市内27事業者が袋井市教育会館で、国が提供するデジタル化診断ツール「みらデジ」の体験会に参加しました。

地域の中小企業のDX化推進を目的に島田掛川信用金庫が開催したもので、参加した事業者は、同業他社と比較したデジタル化の進行度合いを把握できる「みらデジ」の特徴や使用方法を含め、会社経営におけるDX化推進への課題を専門家から学びました。



2-2 稼げる農業づくり

本市が強みを持つ産業分野である農業の一層の発展を実現するため、これまでの蓄積を基盤としつつ、新しい技術の積極的な活用や異業種との連携強化による生産性向上と付加価値の創出や国内外の販路開拓、ブランド力向上に取り組む。

(1) 農業の未来を創るプロジェクト

農業の担い手を育成するため、マーケティングや商品開発のほか、SNSでの情報発信やECサイトの活用法などの知識や技術を習得する「ふくろい農業未来塾」を開催した。また、AI搭載の現地調査アプリ「ACTABA」を活用し、荒廃農地を的確に把握する実証実験を行うなど、荒廃農地の再生と利活用の推進に努めた。今後の課題は、**農業者の経営力強化や担い手の確保をはじめ、生産性の向上等**であり、引き続き県やJAなどと連携しつつ、本市の持つ「農」の魅力を「学校給食を活用した地産地消の推進」などの取組を通じて積極的に情報発信することで、担い手の確保や生産性の向上に取り組んでいく。

主な取組

◆担い手育成支援〔農政課〕

担い手農家等機械整備事業 : 交付件数34件
 農業次世代人材投資資金交付事業※: 交付件数5件

※新型コロナ臨時交付金対象外

・耕作放棄地の解消〔農政課〕

荒廃農地再生・集積推進事業費補助金: 浅羽西地区10a、浅羽南地区36a解消
 現地調査アプリ「ACTABA」: タブレット端末を活用した実証実験

・学校給食への地場産品活用促進〔おいしい給食課〕

地産地消率: 目標値33.0%、実績値40.01%
 収穫体験 : 実施13件、小学校6校、チンゲンサイ・さつまいも・フロッコリーなど

◆=新型コロナ臨時交付金



ふくろい農業未来塾



チンゲンサイ収穫体験

(2) 世界で戦える農産品と新たなビジネスモデル創出プロジェクト

本市のふるさと納税返礼品を取り扱う市内事業者らとともに首都圏のイベント「青山ファーマーズマーケット」に出店し、市場ニーズの把握や新たな市場の開拓に向けた交流機会の創出を図った。今後の課題は、**市場ニーズに合った商品の提供や生産・流通体制の構築**であり、さらなる販路拡大に向け農産品のブランド力強化のため、付加価値を向上し他産地との差別化を図り、時代に合った生産・流通システムの構築など、新たなビジネスモデルの創出に必要な支援に取り組んでいく。

主な取組

◆SNSを活用したシティプロモーション事業〔企画政策課〕

青山ファーマーズマーケットへの出店: ふるさと納税返礼品等を通じた首都圏のイベント
 参加事業者: 12事業者

◆付加価値向上支援〔農政課〕

茶業支援対策事業費補助金 : 交付件数27件
 クラウンメロン振興協議会補助金
 袋井茶振興協議会補助金
 ふくろいブランド米開発販売促進事業補助金

◆6次産業化の促進〔農政課〕

6次産業化促進支援事業費補助金: 交付件数8件

・主要農産物（温室メロン・茶・米）の振興〔農政課、企画政策課〕

温室メロン: 海外（香港、アメリカ等）での市場調査・商談 など
 茶 : 茶業支援対策事業費補助金（交付件数27件）
 ほうじ茶の新たな展開に向けた取組 など
 米 : 経営所得安定対策等の実施による農家所得の向上 など

◆=新型コロナ臨時交付金



青山ファーマーズマーケットでの出店



新銘録ほうじ茶せんべい「ふくせん」の商品化

業績指標の評価

指標名	単位	基準値 (基準年)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度
主要農産物産出額 [↑] 【出典：総合計画、農政課】	億円	目標値	72.2	71.9	71.6	71.3	71.0	
		72.8 (H30)	66.0	70.7	70.4			
利用権設定面積 [↑] 【出典：総合計画、農政課】	ha	目標値	1,100	1,063	1,088	1,113	1,138	
		978 (H30)	1,119	1,103	1,130			
農業法人数 [↑] 【出典：総合計画、農政課】	法人	目標値	40	39	40	41	42	
		37 (H30)	36	37	39			
耕地面積 [↑] 【出典：農政課】	ha	目標値	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	
		3,300 (H29)	3,200	3,170	3,130			
新規就農者数(累計) [↑] 【出典：農政課】	人	目標値	12	24	36	48	60	
		12 (H29)	12	21	30			
耕作放棄地の解消面積(累計) [↑] 【出典：農政課】	ha	目標値	12	24	36	48	60	
		11.2 (H30)	4	34	43			
お茶の出荷量(袋井地区農協共販実績)(累計) [↑] 【出典：農政課】	t	目標値	1,000	2,000	3,000	4,000	5,000	
		1,008 (H30)	1,043	2,030	3,007			
お茶の年間平均単価(袋井地区農協共販実績) [↑] 【出典：農政課】	円	目標値	660	660	660	660	660	
		657 (R1)	630	767	690			
お茶の海外輸出货量(累計) [↑] 【出典：農政課】	t	目標値	6	12	18	24	30	
		6 (H30)	1.8	2.3	7.3			
クラウンメロンの市場出荷箱数(1箱6個入)(累 計) [↑] 【出典：農政課】	箱	目標値	277,800	555,600	833,400	1,111,200	1,389,000	
		277,831 (H30)	309,199	602,653	876,565			
クラウンメロンの年間平均出荷額(箱単価) [↑] 【出典：農政課】	円	目標値	11,250	11,500	11,750	12,000	12,000	
		11,026 (H30)	10,668	12,029	12,626			
クラウンメロン加工品取扱企業数 [↑] 【出典：農政課】	社	目標値	53	53	53	53	53	
		53 (H30)	45	53	42			
学校給食における市内産野菜の使用率(重量ベ ース) [↑] 【出典：総合計画、おいしい給食課】	%	目標値	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	
		34.2 (H30)	33.1	44.7	40.0			

評価基準	評価	評価基準		
		達成度※1		総合評価※2
		よくできました	目標値以上	5点
いい調子です	目標値未滿~70以上	4点	4.4 ~ 3.5点	
もうひと踏ん張り	70未滿~基準値	3点	3.4 ~ 2.5点	
もっとがんばろう	基準値未滿	1点	2.4 ~ 0点	

総合評価

3.8点

※1 達成度は、目標値を100とした場合の達成度合いで評価
 ※2 総合評価は、業績指標の平均点で評価

TOPICS

「にっぽんの宝物」でグランプリ受賞

日本各地の優れた商品を選び出し、世界に発信していこうと行われている「にっぽんの宝物」のJAPAN大会ドリンク部門で、「晩茶研究会」のスパークリングティー『bodhi』(ボーディー)がグランプリを受賞しました。bodhiは、同研究会の特許製法による乳酸発酵茶から生まれたノンアルコール飲料で、蜂蜜のような甘い香りと搾りたての果汁を思わせる爽やかな酸味が特徴です。



2-3 「ふくろい」ならではの暮らしづくり

市民が誇りと愛着を持つ生活文化、地域資源を再確認・発掘し、世界や全国を視野に本市の魅力伝えるものに磨き上げ、市民の定着や関係人口の増加につなげていくため、商品・プログラム開発などの魅力づくりに取り組むとともに、体験・交流機会の提供や環境整備、情報交流を推進する。

(1) 観光ビジネス創出プロジェクト

海プロフェスタやエキマチフェスタ、花マルシェなど、海や公園、広場、河川をはじめとする公共空間を利活用し、官民が連携した賑わい創出を図ったほか、袋井駅周辺や観光施設のライトアップなど、誘客や観光消費の拡大を図った。今後の課題は、**域内の消費拡大に向けた地域資源の有効活用と連携強化**であり、多様な主体との更なる連携強化を図り、ふくろいならではの賑わいづくりに取り組んでいくとともに、地域資源を活用したビジネスの担い手育成・確保などの支援により、地域内消費の拡大に取り組んでいく。

主な取組

★ = 地方創生推進交付金 ◆ = 新型コロナ臨時交付金

- ★ **海のにぎわい創出プロジェクト** [企画政策課、維持管理課、スポーツ政策課]
海プロフェスタ：開催日11/3、ヒラメの稚魚放流、サーフィンデモンストレーションなど
袋井幸浦の丘プロジェクト：地元住民向けニュースレター作成など
- ★ **公共空間を活用した賑わい創出** [維持管理課、生涯学習課、企画政策課、都市計画課]
花マルシェ：ふくろい宿de花マルシェ（開催日5/28、11/20、袋井宿場公園）
エキマチフェスタ：開催日6/19、11/20、袋井駅周辺
ミズベリング：原野谷川de夕涼み（開催日7/30、参加者300人）
水辺deゆるっと防災ワンデイキャンプ（開催日10/29、参加者29人）
青空図書館：開催日11/26、参加者約870人、高尾町公園
- ◆ **夜の賑わいづくり創出** [産業政策課]
飲食店等紹介冊子「ふく呑みvol.4」作成
袋井駅周辺ライトアップ：実施期間11/19～1/31
観光施設ライトアップ（法多山、可睡齋）：実施期間11/19～12/4 など
- ◆ **ふくろい観光ルネッサンス** [産業政策課]
遠州三山風鈴まつり：実施期間5/21～8/31
遠州三山紅葉めぐり：実施期間11月中旬～12月上旬
可睡齋ひなまつり：実施期間1/1～3/31



袋井駅前ライトアップ



海プロフェスタ

(2) ふくろいファンづくりプロジェクト

ふるさと納税の申込サイトの充実・強化や市内の食や観光資源を紹介した動画を製作したほか、観光地などで撮影した写真や動画を募り、SNSを活用したコンテストを開催するなど、市民参加型のシティプロモーションの充実・強化を図った。また、ふくろいでの暮らしをイメージできる「移住・交流ポータルサイト」を開設し、移住検討者へのPRだけでなく、関係人口創出に向けたシティプロモーションの強化を図った。今後の課題は、**地域づくりの担い手として期待される関係人口の創出・拡大**であり、多様な主体と連携した、多様なチャンネルや機会を通じて、新たな仲間づくりに取り組んでいく。

主な取組

★ = 地方創生推進交付金 ◆ = 新型コロナ臨時交付金

- ・ **ふるさと納税の推進** [企画政策課]
申込サイト：全20サイト（マイナビ、ふるさと百選など6つ追加）
新規返礼品：124品追加（葛城北の丸のおせち料理や市内で制作された家具など）
寄付実績：57,127件、1,135,770,500円
- ◆ **地域資源プロモーション** [企画政策課]
Instagramを活用したフォト・動画コンテスト
・夏のタカラサガシInstagram フォト&ショートムービーFes！
：実施期間7/15～8/31、応募作品数847件
・「探そう！袋井の宝物」：実施期間11/18～1/10、応募作品数932件
・青山ファーマーズマーケットへの出店：ふるさと納税返礼品等を通じた首都圏のイベント
参加事業者：12事業者
- ★ **姉妹都市・友好都市交流** [秘書課]
学校給食による交流促進
情報発信：広報誌への掲載（塩尻市）、SNSでの情報発信（岩沼市）、PRポスター作成等
袋井市民訪問（岩沼市）：実施日1/28～1/29、参加人数26人
岩沼市民訪問（袋井市）：実施日11/24～11/25、参加人数19人
- ★ **ふくろいのライフスタイル発信事業** [企画政策課]
移住交流ポータルサイトの開設：公開日3/13



プロモーション動画



移住・交流ポータルサイト

業績指標の評価

指標名	単位	基準値 (基準年)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度
観光交流客数 [↑] 【出典：総合計画、産業政策課】	千人	目標値	5,075	5,100	5,125	5,150	5,175	
		4,753 (H30)	2,403	3,320	4,145			
観光案内所の来場者数 [↑] 【出典：産業政策課】	人	目標値	20,000	21,000	22,000	23,000	24,000	
		20,172 (H30)	5,551	6,381	8,715			
ホームページ等のアクセス数（観光関係） [↑] 【出典：総合計画、産業政策課】	件	目標値	800,000	363,000	413,000	463,000	513,000	
		583,522 (H30)	307,773	603,748	886,772			
市公式 SNS「いいね」の数 [↑] 【出典：企画政策課】	件	目標値	40,000	45,000	50,000	55,000	60,000	
		35,459 (H30)	14,401	145,807	162,707			
全国地域ブランド調査における魅力度の順位 [↑] 【出典：企画政策課】	位	目標値	540	480	420	360	300	
		600 (H30)	550	648	732			
ふるさと納税件数 [↑] 【出典：企画政策課】	件	目標値	7,800	8,100	8,400	8,700	9,000	
		1,240 (H30)	34,365	49,340	57,127			
ふれあい夢市場の来場者数 [↑] 【出典：市民サービス課】	人	目標値	19,000	19,250	19,500	19,750	20,000	
		18,000 (R1)	中止	中止	13,000			
公共空間（公園、河川、道路）を活用した販わい創 出イベント数（累計） [↑] 【出典：維持管理課、 都市計画課】	件	目標値	7	14	21	28	35	
		6 (R1)	7	16	26			

評価基準	評価	評価基準	
		達成度※1	総合評価※2
	よくできました	目標値以上	5点
	いい調子です	目標値未満～70以上	4点
	もうひと踏ん張り	70未満～基準値	3点
	もっとがんばろう	基準値未満	1点

総合評価

3.0点

※1 達成度は、目標値を100とした場合の達成度合いで評価
 ※2 総合評価は、業績指標の平均点で評価

TOPICS

ふくろいのファンづくりの実践

クラウンメロンを題材とする創作絵本事業から誕生した絵本「おうさまのメロンはどこへいった？」が、全国広報コンクール広報企画部門で最高位の総務大臣賞を受賞しました。

また、「フクロイイ！」を合言葉に市の魅力をPRするシティプロモーション動画も、静岡県広報コンクールの映像部門で最優秀賞を受賞しました。地域の皆さんが出演し、まちの自慢や地域活動などを、軽快で和みのある曲と明るく柔らかいタッチで映像化することで、等身大のまちの魅力を効果的に伝えていることが評価されたものです。今後も、地域資源を活かし、幅広い市の魅力発信につなげていきます。



3-1 人生100年時代「全世代が活躍するまちづくり」

世代を問わず生涯を通じて全ての人が意向、能力、健康状態に応じて活躍できるまちをつくるため、就労・活躍機会の拡大、健康維持・増進、環境の整備等に取り組む。

(1) 生涯活躍のまちづくりプロジェクト

人生100年時代の地域経営のあり方に関する調査研究では、官民共創ワーキンググループにおいて、学校や花をテーマとした共創の実践をはじめ、各種イベントでの試行実証を行ったほか、本市で目指す共創の実装に向けて、連携相談窓口の設置など、次年度以降の方向性を整理した。また、市民の健康に対する意識や知識を高めるため、健康アプリの活用促進や地域での保健指導などに取り組んだ。今後の課題は、**官民共創の実装に向けた仕組みづくり**であり、官民がつながり、対話ができるプラットフォームを基盤に、デジタルのチカラを有効に活用しながら、生涯活躍できる地域社会の実現を目指していく。

主な取組

★ = 地方創生推進交付金

★全世代が活躍するまちづくり推進事業 [企画政策課]

官民共創ワーキンググループ：学校、スポーツ、観光などの分野の代表者20人ほどが参加
 官民共創ワーキング：開催日8/9、12/23、3/30
 共創の取組の試行実証に基づく、共創実現の仕組みの検討など
 実証事業：5/28ふくろい宿de花マルシェ、11/3海プロフェスタ
 11/20フクロイエキマチフェスタ、12/25ガチフェスinアリーナ

★働く世代からの健康づくり [健康づくり課]

男の健康道場：開催日6/14、6/28、7/12、7/26、8/9、参加者17人
 ころと体の健康教室：開催日2/4、参加者30人
 健康度測定：開催期間5~3月(全11回)、参加者57人
 #2961ウオークの推進：登録者数5,695人
 新しい生活様式に関する付与ポイント増加キャンペーン(8~9月)
 特定健診受診の付与ポイントを100ポイントから500ポイントに増加

★健康リテラシーの向上 [健康づくり課]

ふくろい健康保健室：実施95回、延べ参加者2,250人
 おやこ保健室：実施27回、集団指導133人、個別指導119人
 みんなのよしみち保健室：実施6回、4/21イオン袋井店、10/2杏林堂薬局袋井下山梨店、11/16とれたて食薬部、12/1ユウコープミオクチーナ袋井町田店、2/5杏林堂薬局袋井下山梨店、3/15遠鉄ストア浅羽店
 参加者562人
 出前健康教室：公会堂33回、参加者519人
 事業所等23回、参加人数364人
 地域活動サークル6回、参加人数36人



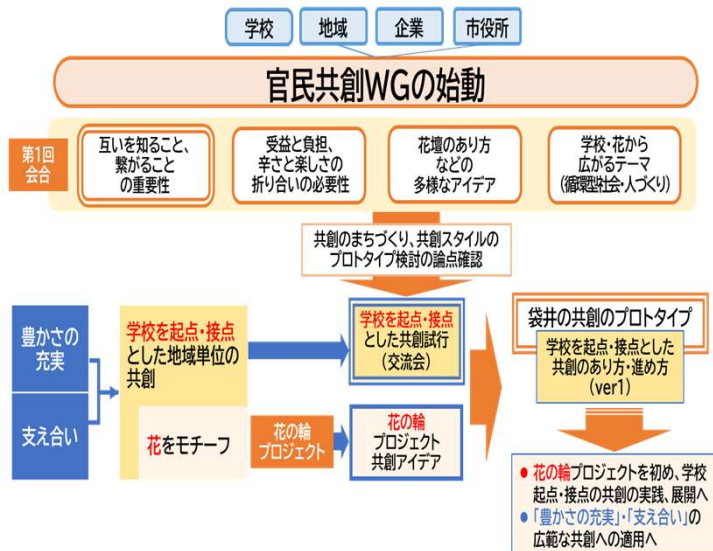
みんなのよしみち保健室



出前健康教室

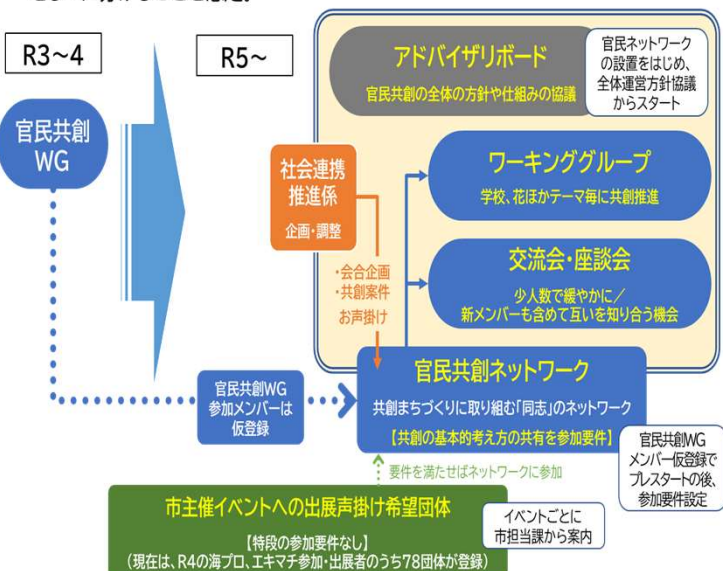
●「袋井ならではの豊かな暮らし」を共に考え、共に創り出す「共創によるまちづくり」の推進、仕組みづくりの第一歩として『官民共創ワーキンググループ』を立ち上げ。

● 官民・多分野のメンバーが互いを知り合い、繋がりがながら、共創のプロトタイプとして『学校を起点・接点とした共創のあり方・進め方』を作成・共有することができた。



体制:官民での協議・繋がりがづくりの場

● 官民共創WGの2年間の取組による繋がりと「共創のまちづくり」の理念共有を基盤に、新たに同志の連携組織『官民共創ネットワーク』を設置した上、協議・繋がりがづくりの場を3つに分けることを想定。



業績指標の評価

指標名	単位	基準値 (基準年)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度
お達者度(男性) [↑] 【出典：総合計画、健康づくり課】	年	目標値	17.92	17.98	18.05	18.12	18.19	—
		17.78 (H28)	18.77 (H30)	19.19 (R1)	9月公表			
お達者度(女性) [↑] 【出典：総合計画、健康づくり課】	年	目標値	21.34	21.41	21.49	21.57	21.65	—
		21.18 (H28)	21.54 (H30)	21.58 (R1)	9月公表			
(公社)袋井・森地域シルバー人材センターの就業 延人員 [↑] 【出典：総合計画、産業政策課】	人	目標値	67,000	64,200	68,200	72,400	76,800	
		64,553 (H30)	55,916	56,337	60,255			
健康経営チャレンジ事業所数 [↑] 【出典：健康づくり課】	事業所	目標値	160	200	210	220	230	
		70 (H30)	135	134	135			
袋井市が住みやすいと感じている人の割合 [↑] 【出典：市民意識調査】	%	目標値	72.0	74.0	76.0	78.0	80.0	
		71.9 (H30)	71.4	72.9	73.3			

評価基準	評価	評価基準		
		達成度※1	総合評価※2	
よくできました		目標値以上	5点	5 ~ 4.5点
いい調子です		目標値未満~70以上	4点	4.4 ~ 3.5点
もうひと踏ん張り		70未満~基準値	3点	3.4 ~ 2.5点
もっとがんばろう		基準値未満	1点	2.4 ~ 0点

※1 達成度は、目標値を100とした場合の達成度合いで評価
 ※2 総合評価は、業績指標の平均点で評価

総合評価

2.7点

TOPICS

実装に向けた共創の試行実証を实践

5月に開催した“花マルシェ”の中で、「共創のまちづくり」の推進に向けた実証事業を行いました。

官民共創ワーキングをきっかけに繋がった市内中学校や地元企業、袋井市花の会・花工場などが対話を積み重ねながら、生徒の社会性の育成や自社の認知度向上、緑化の推進や担い手不足の解消などの課題解決に向けて取り組んだもので、花マルシェの場で共に活動し、各々が叶えたいことの実現を目指しました。

学校や花をテーマとした、実証事業をプロトタイプとし、「海プロフェスタ」や「フクロイエキマチフェスタ」では、それぞれの「場」のにぎわい創出・活用促進・運営の在り方検討等を目的とした試行実証として、多様なテーマ、多様な主体のオープンな交流機会を創出し、幅広く展開しました。

さらに、民間（市施設の指定管理者であるWGメンバー）主催イベント「ガチフェスinアリーナ」における、行政連携に展開することができました。

学校を起点とした共創のまちづくり実証
 花をフックに学びと企業PR

官民共創
 実証事業
 (学校起点)

学校・企業、地域との新たな繋がりと対話の積み重ねが
 互いに実現したいことを叶え合う仲間となる

2022.5.28@袋井宿場公園「ふくろい花マルシェ」

ガチフェス
 スポーツを
 楽しむフェス
 inアリーナ

海プロフェスタ
 “アマガサ”創出イベント

UrbanSports
 Baseball5
 Attractions

交通広域圏バスのご案内
 ①乗車券内
 ②バス内乗降のルール（乗降時）
 ③乗降する場所（乗降時）
 ④乗降の順序（乗降時）
 ⑤乗降の順序（乗降時）
 ⑥乗降の順序（乗降時）
 ⑦乗降の順序（乗降時）
 ⑧乗降の順序（乗降時）
 ⑨乗降の順序（乗降時）
 ⑩乗降の順序（乗降時）

3-2 支え合う多様な仲間づくり

高齢化の進展下、介護、子育て、防災などで互いに支え合えるまちをつくるため、コミュニティセンター等を拠点として日頃から安心できる仲間づくり、互助の仕組みづくりを進める。

(1) 支え合い・つながり創出プロジェクト

まちづくり協議会が主体となり、市内タクシー事業者と連携し「地域タクシー」の試験運行を実施したほか、地域コミュニティ活動の情報発信を強化するため、コミュニティセンターのLINE公式アカウントや地域版ホームページを活用した情報発信を行った。今後の課題は、**コミュニティセンターを拠点とした地域コミュニティ活動の活性化**であり、地域活動やイベント情報を、SNS等を活用して情報発信するとともに、介護・子育て・防災等において、まちづくり協議会の活動を引き続き支援するなど、互いに支え合う互助・共助の体制づくりに取り組んでいく。

主な取組

★ = 地方創生推進交付金

★特色ある地域づくりの推進 [協働まちづくり課]

特色ある地域づくり交付金の活用：まちづくり協議会6地区（袋井東、袋井西、豊沢、高南、浅羽西、浅羽北）、計8事業

まちづくり協議会研修会 : 開催日7/5
まちづくり協議会交流会 : 開催日2/4

★LINE公式アカウントを活用した情報発信の検証 [協働まちづくり課]

14地区、登録者数8,317人、情報発信数1,146件

意見交換会 : 開催日6/23
リニューアル作業 : 9~10月
操作説明会 : 開催日9/15

★地域版ホームページを活用した情報発信の検証 [協働まちづくり課]

意見交換会 : 開催日6/23
リニューアル作業 : 9~3月

★新たな地域公共交通「地域タクシー」の試験運行 [協働まちづくり課]

袋井東地区、実施期間9~11月、利用登録者254人、運行日数37日、延べ利用者数318人



まちづくり協議会交流会



地域タクシーの試験運用

まちづくり協議会名	活動の名称
袋井東地区まちづくり協議会	いのちを守る防災隊
	久努の松並木愛護会
袋井西地区まちづくり協議会	袋井西地区まちづくり検討プロジェクト「彩雲プロジェクト」
豊沢地区まちづくり協議会	防災講演会
高南まちづくり協議会	高南地区防災活動 避難時の炊き出し体験会
浅羽西地区まちづくり協議会	花火で地域を超えた連携強化
	地域の防災力アップ
浅羽北地区まちづくり協議会	避難行動ロードマップの全戸配布

特色ある地域づくり交付金活用事業

業績指標の評価

指標名	単位	基準値 (基準年)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度
地区まちづくり協議会が新たに取り組んだ特色ある地域づくり活動の数(累計) [↑] 【出典：総合計画、協働まちづくり課】	事業	目標値	5	10	15	20	25	
		5 (R2推計)	10	19	27			
NPO団体等が企業と連携し実施した事業数【再掲】 [↑] 【出典：総合計画、協働まちづくり課】	件	目標値	10	8	9	10	11	
		11 (H30)	1	8	12			
コミュニティセンターの利用者数 [↑] 【出典：総合計画、協働まちづくり課】	人	目標値	410,000	412,000	413,000	414,000	415,000	
		384,128 (H30)	207,168	219,436	261,892			
通いの場の箇所数(週1回以上の活動) [↑] 【出典：総合計画、健康づくり課、地域包括ケア推進課】	箇所	目標値	70	75	80	85	90	
		70 (R2推計)	69	67	72			
総合健康センターでの総合相談件数 [↑] 【出典：総合計画、地域包括ケア推進課】	件	目標値	4,600	4,700	4,800	4,900	5,000	
		3,423 (H30)	5,317	5,689	6,044			
消防団員の充足率 [↑] 【出典：総合計画、危機管理課】	%	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
		85.61 (R1)	81.2	81.2	77.9			
見守りネットワーク実施箇所数(自治会数) [↑] 【出典：地域包括ケア推進課】	箇所	目標値	65	68	71	74	77	
		62 (R1推計)	69	69	87			
地域の絆や支え合いの仕組みが形成されていると感じている人の割合 [↑] 【出典：市民意識調査】	%	目標値	55.0	55.0	60.0	65.0	70.0	
		50.6 (H30)	41.8	45.6	43.6			
仕事や家庭以外に所属するコミュニティがあると感じている人の割合 [↑] 【出典：市民意識調査】	%	目標値	55.0	55.0	60.0	65.0	70.0	
		54.0 (H30)	42.0	43.9	44.7			

評価基準	評価	評価基準		
		達成度※1	総合評価※2	
	よくできました	目標値以上	5点	5 ~ 4.5点
	いい調子です	目標値未満~70以上	4点	4.4 ~ 3.5点
	もうひと踏ん張り	70未満~基準値	3点	3.4 ~ 2.5点
	もっとがんばろう	基準値未満	1点	2.4 ~ 0点

※1 達成度は、目標値を100とした場合の達成度合いで評価
 ※2 総合評価は、業績指標の平均点で評価

総合評価

3.1点

TOPICS

住民の互助で『支え愛』のあるまちづくり

浅羽・笠原まちづくり協議会生活支援ネットワークが「第11回健康寿命をのぼそう!アワード」で、厚生労働省老健局長優良賞を受賞しました。

住居の掃除や庭の草取り、ごみ出しなどの日常生活のちょっとした困りごとを地区住民の助け合いで解決する生活支援活動を通じて、住み慣れた地域で住民同士が互いに支え合う、「支え愛」のあるまちづくりを目指しています。



3-3 多様性を強みとするまちづくり

外国人市民や障がい者、女性の活躍が期待される中、高齢者、学生あるいは地域外に住む関係人口など多様な価値観を尊重し、多様性を本市の魅力や発展への活力としていくため、多文化共生、男女共同参画等の取組を進める。

(1) 「共創社会」加速化プロジェクト

異文化への理解を深める講座や「やさしい日本語」研修会の開催、外国人市民のための防災ハンドブックの配布など共生社会の推進に向けた取組を充実させた。また、女性の社会参画を推進するため、男性育休を推進するセミナーなどを開催した。今後の課題は、**女性や障がいのある方、外国人市民など誰もが活躍できる場を増やすこと**であり、地域・事業者・行政がさらに連携し、性別や国籍、障がいの有無を問わず、誰もが地域に住む市民として暮らしやすい環境づくりの推進により、多文化や多様性を本市の魅力として、相互に共感できる共創社会の実現に取り組んでいく。

主な取組

★ = 地方創生推進交付金

★多文化共生の推進 [協働まちづくり課]

多文化共生情報紙「共生のトピラ」発行：第3号6月、第4号11月発行（各5,000部）
 地域共生コミュニティ会議：第1回開催日7/30、参加者51人
 第2回開催日8/20、参加者28人
 職員向け「やさしい日本語」研修会：開催日8/10、参加者80人
 事業所向け多文化共生講演会：開催日12/16、参加者12人
 外国人のための防災ハンドブック配布、ハンドブックを活用した防災講座の実施
 多文化共生に関する市民意識調査：配布数1,500通、有効回答率38.5%
 多文化共生に関する外国人市民実態調査：配布数1,500通、有効回答率29.0%

★異文化への理解を深める取組 [協働まちづくり課]

セント・パトリックス・デーinふくろい：開催日3/17、市役所1階市民ホール
 アイルランド音楽演奏会、パネル展示など
 グリーンライトアップ：実施日3/17、市役所本庁舎
 アイルランド関係図書の特設コーナー：開催期間2/15～3/26、袋井図書館
 学生ペンパル交流事業：参加者袋井高校6人、アイルランド高校生11人
 台湾屏東県の地下ダム「二峰圳」通水百年記念イベント：開催期間：6/10～7/1
 パネル展：市役所ホール、月見の里学遊館
 関係図書展示：袋井図書館

・男女共同参画の推進 [協働まちづくり課]

男女共同参画セミナー：開催日1/14、参加者81人
 テーマ「男性育休を推進するワーク・ライフ・バランス」

セント・パトリックス・デーinふくろい



(アイルリッシュ音楽の演奏)



(グリーンライトアップ)



地域共生コミュニティ会議



やさしい日本語研修会

業績指標の評価

指標名	単位	基準値 (基準年)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度
多文化共生を推進するための講座数 [↑] 【出典：総合計画、協働まちづくり課】	講座	目標値	10	13	13	14	14	
		12 (R1)	10	15	16			
外国人市民の防火防災啓発活動の参加率 [↑] 【出典：総合計画、袋井消防本部予防課】	%	目標値	2.0	4.0	6.0	8.0	10.0	
		1.9 (R2)	1.9	3.2	5.4			
障がい者の法定雇用率を達成している民間企業の割合 [↑] 【出典：総合計画、しあわせ推進課】	%	目標値	50.0	42.0	44.0	46.0	48.0	
		36.5 (R1)	40.4	39.0	42.6			
「男女共同参画社会づくり宣言」宣言事業所の数 [↑] 【出典：総合計画、協働まちづくり課】	事業所	目標値	50	52	54	56	58	
		50 (H30)	53	54	58			
市の審議会等の女性委員の割合 [↑] 【出典：総合計画、協働まちづくり課】	%	目標値	40.0	37.5	38.1	38.7	39.3	
		36.3 (R1)	36.9	38.3	40.3			
合計特殊出生率 [↑] 【出典：総合計画、企画政策課】	-	目標値	1.84	1.86	1.89	1.91	1.93	-
		1.79 (H29)	1.57	1.54	公表後 (県)			
袋井市が子どもを産み育てやすい環境だと感じている人の割合 [↑] 【出典：市民意識調査】	%	目標値	50.0	55.0	60.0	65.0	70.0	
		45.8 (H30)	45.5	50.5	48.7			

評価基準	評価	評価基準	
		達成度※1	総合評価※2
よくできました		目標値以上	5点
いい調子です		目標値未満～70以上	4点
もうひと踏ん張り		70未満～基準値	3点
もっとがんばろう		基準値未満	1点

※1 達成度は、目標値を100とした場合の達成度合いで評価
 ※2 総合評価は、業績指標の平均点で評価

総合評価

4.5点

TOPICS

活躍できる場の拡大に向けた取組

無印良品ノブレスパルク袋井と連携した初の取組として、袋井特別支援学校の生徒たちが同店内で、授業で作製した製品の展示や接客などの職業体験を行いました。

本取組は、令和3年12月に締結した、市内高等学校・特別支援学校との地方創生の推進に向けた連携協定に基づいた取組であり、生徒のさらなる活躍の場を広げるとともに、誰もが活躍できるまちづくりの実現を目指していきます。



戦略を支える取組

総合戦略では、国の第2期総合戦略を勘案して基本目標を次のとおり定めています。
3つの挑戦と基本目標との対応表は以下のとおりです。

- 基本目標 1 活力みなぎる産業のあるまちづくり
- 基本目標 2 快適で魅力にあふれ、安全・安心に暮らせるまちづくり
- 基本目標 3 子どもがすこやかに育つまちづくり
- 基本目標 4 市民がいきいきと活躍し、健康長寿で暮らしを楽しむまちづくり

3つの挑戦	重点戦略	基本目標			
		活力みなぎる産業のあるまちづくり	快適で魅力にあふれ安全・安心に暮らせるまちづくり	子どもがすこやかに育つまちづくり	市民がいきいきと活躍し健康長寿で暮らしを楽しむまちづくり
挑戦1 「ふくろい人」 ひとづくりへの挑戦	新しい時代を生き抜く人づくり			○	
	社会や産業を支える人づくり	○		○	
	挑戦する人を応援する土壌づくり	○		○	○
挑戦2 「しっかり稼ぐ」 しごとづくりへの挑戦	新たな産業と地域社会づくり	○	○		
	稼げる農業づくり	○			
	「ふくろい」ならでの暮らしづくり	○	○		
挑戦3 「支え合い」 誰もが活躍する まちづくりへの挑戦	人生100年時代「全世代が活躍する」まちづくり	○	○	○	○
	支え合う多様な仲間づくり		○	○	○
	多様性を強みとするまちづくり		○	○	○

業績指標の評価

(1) 活力みなぎる産業のあるまちづくり

指標名	単位	基準値 (基準年)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度
製造品出荷額等（従業員4人以上）[↑] 【出典：総合計画、産業政策課】	億円	目標値	5,880	5,960	6,040	6,130	6,200	—
		5,880 (H29)	6,061 (R1)	5,727 (R2)	2月頃公表			
観光交流客数[↑] 【出典：総合計画、産業政策課】	千人	目標値	5,075	5,100	5,125	5,150	5,175	
		4,753 (H30)	2,403	3,320	4,145			
主要農産物産出額[↑] 【出典：総合計画、農政課】	億円	目標値	72.2	71.9	71.6	71.3	71.0	
		72.8 (H30)	66.0	70.7	70.4			

(2) 快適で魅力にあふれ安全・安心に暮らせるまちづくり

指標名	単位	基準値 (基準年)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度
地区計画などの実施面積 [↑] 【出典：総合計画、都市計画課】	ha	目標値	355	370	370	370	370	
		308 (H30)	355	355	355			
一人1日あたりの可燃ごみの排出量 [↓] 【出典：総合計画、廃棄物対策課】	g	目標値	537	530	524	517	511	
		543 (H30)	556	523	491			
河川改修延長の進捗 [↑] 【出典：総合計画、道路河川課】	m	目標値	502	625	765	855	995	
		258 (H30)	511.6	619.3	851.9			
人身事故件数 [↓] 【出典：総合計画、協働まちづくり課】	件	目標値	560	545	530	515	500	
		559 (R1)	446	513	503			

(3) 子どもがすこやかに育つまちづくり

指標名	単位	基準値 (基準年)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度
合計特殊出生率 [↑] 【出典：総合計画、企画政策課】	-	目標値	1.84	1.86	1.89	1.91	1.93	-
		1.79 (H29)	1.57	1.54	公表後 (県)			
保育所待機児童数 [↓] 【出典：総合計画、すこやか子ども課】	人	目標値	0	0	0	0	0	
		58 (H30)	2	0	0			
全国規模の学力調査で全国平均を上回る科目の割合 (小6：国語・算数、中3：国語・数学) [↑] 【出典：学校教育課】	%	目標値	50.0	80.0	80.0	100.0	100.0	
		50.0 (R1)	中止	0	0			

(4) 市民がいきいきと活躍し健康長寿で暮らしを楽しむまちづくり

指標名	単位	基準値 (基準年)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度
お達者度(男性) [↑] 【出典：総合計画、健康づくり課】	年	目標値	17.92	17.98	18.05	18.12	18.19	-
		17.78 (H28)	18.77 (H30)	19.19 (R1)	9月 公表			
お達者度(女性) [↑] 【出典：総合計画、健康づくり課】	年	目標値	21.34	21.41	21.49	21.57	21.65	-
		21.18 (H28)	21.54 (H30)	21.58 (R1)	9月 公表			
市国保特定健診で糖尿病が強く疑われる人の割合 [↓] 【出典：総合計画、健康づくり課】	%	目標値	10.4	10.3	10.2	10.1	10.0	
		10.5 (H30)	10.5 (R1)	10.3 (R2)	9.8 (R3)			
総合健康センターでの総合相談件数 [↑] 【出典：総合計画、地域包括ケア推進課】	件	目標値	4,600	4,700	4,800	4,900	5,000	
		3,423 (H30)	5,317	5,689	6,044			
自治会加入率 [↑] 【出典：総合計画、協働まちづくり課】	%	目標値	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	
		85.3 (R1)	84.5	84.7	85.4			
協働まちづくりセンターの登録団体数(市民活動団体) [↑] 【出典：総合計画、協働まちづくり課】	団体	目標値	50	50	50	50	50	
		53 (H30)	43	44	47			
「男女共同参画社会づくり宣言」宣言事業所の数 [↑] 【出典：総合計画、協働まちづくり課】	事業所	目標値	50	52	54	56	58	
		50 (H30)	53	54	58			

平成27年度 「地方版総合戦略の策定&先行的な取組」

第1弾

②6月補正⇒②7全額繰越

総額：116,161千円

- 交付金名 **地域住民生活等緊急支援のための交付金【消費喚起・生活支援型】**
- 事業費 **72,653千円（国費10/10）**
- 交付要件 自治体の財政力指数や人口等に基づいた算定・配分
- 施策の概要
地域における消費喚起策「**元気はつらつクーポン券**」（プレミアム付き地域商品券）の発行
発行冊数：33,000冊、発行総額：396,000千円（プレミアム率20%/66,000千円）

- 交付金名 **地域住民生活等緊急支援のための交付金【地方創生先行型/基礎分】**
- 事業費 **43,508千円（国費10/10）**
- 交付要件 自治体の財政力指数や人口等に基づいた算定・配分
- 施策の概要
・「**地方版総合戦略**」の策定のほか、**まち・ひと・しごと創生に資する先行的な事業**
ICT教育の充実強化（電子黒板の導入）、子育て応援アプリの開発、観光情報の多言語化、
全国メロンサミットの開催、クラウンメロンの海外輸出支援、シティプロモーションほか

第2弾

②711月補正

総額：20,000千円

- 交付金名 **地域住民生活等緊急支援のための交付金【地方創生先行型/上乗せ交付（タイプⅠ）】**
- 事業費 **10,000千円（国費10/10）**
- 交付要件 国は自治体の提案を受け、先駆的な取組を審査・選考
- 施策の概要
・「**3 Days Worker's Office構想**」策定事業
「週3日程度の就労」と「一定程度の所得」を得ることができる仕組みづくり

- 交付金名 **地域住民生活等緊急支援のための交付金【地方創生先行型/上乗せ交付（タイプⅡ）】**
- 事業費 **10,000千円（国費10/10）**
- 交付要件 地方版「総合戦略」を10月末までに策定した自治体に交付（施策の推進費）
- 施策の概要
・**まち・ひと・しごと創生に資する先行的な事業**
ICT教育の充実強化（電子黒板導入校の拡大）、タブレットを活用した学習支援の社会実験
袋井商業高等学校の5年制化の推進、アクティブ育児応援プログラム

- 交付金名 **地方創生加速化交付金**
- 事業費 **40,000千円(国費10/10)**
- 交付要件 国は自治体の提案を受け、先駆的な取組を審査・選考
- 施策の概要

「3 Days Worker's Office構想」実装化事業

- ・基礎調査(㉗実施)により抽出された課題整理と制度の詳細設計、推進協議会の開催
- ・「仕事の切り出し」や「シフトの組み方」など好事例の実践

- 交付金名 **地方創生加速化交付金**
- 事業費 **40,000千円(国費10/10)**
- 交付要件 国は自治体の提案を受け、先駆的な取組を審査・選考
- 施策の概要

「グローバル戦略」加速化事業

- ・T P Pを見据えたクラウンメロンの輸出促進
新興国市場での需要喚起と販路拡大(トップセールス、海外バイヤー招聘ほか)
- ・ラグビーW杯を見据えた訪日外国人観光客のおもてなし環境整備
市民の英語力向上(英検受験助成ほか)、ふくろい版ホームステイ、シティプロモーション

平成28年度 「本格的な地方創生事業の推進」

- 交付金名 **地方創生推進交付金(1年目/H28-30) <第39回地域再生計画認定>**
- 事業費 **50,000千円(国費1/2)**
- 交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考
- 施策の概要

グローバルイノベーション戦略

- ・交流人口増加に向けた新成長分野の強化
市PR動画作成・首都圏プロモーション、サテライトオフィスの実証実験 など
- ・オープンデータやクラウドファンディングを活用した新事業の創出
オープンデータ活用推進、クラウドファンディング推進 など
- ・人材育成/I T教育や観光教育の充実強化
I C T教育の充実強化(電子黒板導入校の拡大)、ロボットプログラミング教育支援 など

- 交付金名 **地方創生拠点整備交付金<第41回地域再生計画認定>**
- 事業費 **16,000千円(国費1/2)**
- 交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考
- 施策の概要

地域の縁側づくり「ENGAWAマーケット@浅西」実施計画

- ・縁側づくり(事務室の増築)と土間(庇)の設置
ENGAWA(事務室)ヒトとコトの交流ゾーン/DOMA(庇)モノの交流ゾーン
- ・備品購入(老朽化した味噌づくり用自動発酵機等の備品更新)

第6弾

⑲当初

総額：50,000千円

○交付金名 地方創生推進交付金（2年目／H28－30）〈第39回地域再生計画認定〉

○事業費 50,000千円（国費1／2）

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

グローバルイノベーション戦略

- ・交流人口増加に向けた新成長分野の強化
ふくろい版ホームステイ、クラウンメロンのブランド力向上、健康アプリ作成 など
- ・オープンデータやクラウドファンディングを活用した新事業の創出
オープンデータ活用推進、創業支援 など
- ・人材育成／IT教育や観光教育の充実強化
ICT教育の充実強化（電子黒板導入校の拡大）、市民の英語力向上 など

第7弾

⑲交付（国委託事業）

総額：20,004千円

○事業名 生涯現役促進地域連携事業（1年目／H29－31）

○事業費 20,004千円（国費10／10）

○交付要件 国は協議会の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

ふくろいTaskAruネットワーク（3 Days Worker's Office構想推進）事業

- ・高齢者の担い手づくり（職場見学会、就労体験、職能訓練の実施）
- ・新しい働き方・しごとづくり（需給双方による検討）
- ・高齢者・企業双方への普及啓発とネットワークづくり

第8弾

⑳当初

総額：50,000千円

○交付金名 地方創生推進交付金（3年目／H29－30）〈第39回地域再生計画認定〉

○事業費 50,000千円（国費1／2）

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

グローバルイノベーション戦略

- ・特産物やラグビーW杯を契機にした誘客活動や商品造成、IT企業と連携した働き方改革の実践
ふくろい版ホームステイ、ラグビー開催に向けた機運醸成、インバウンド観光推進 など
- ・オープンデータやクラウドファンディングを活用した新事業の創出
オープンデータ活用推進、創業支援 など
- ・人材育成／IT教育や観光教育の充実強化
ICT教育の充実強化（電子黒板導入校の拡大）、市民の英語力向上 など

○交付金名 **地方創生推進交付金（1年目／H30－32）〈第47回地域再生計画認定〉**

○事業費 **132,000千円（国費1／2）**

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

「稼ぐチカラ」向上戦略

- ・地域資源の融合・変化による新たな価値創出と地域内の「稼ぐチカラ」強化
商店街・風鈴まつり×イルミネーション、農産物お土産開発、産業経済懇話会 など
- ・メガイベントを契機とした「まちの魅力」の最大化とコトづくり
ラグビーW杯に向けた誘客、ICTとSNSを活用した魅力発信 など

○交付金名 **地方創生推進交付金（1年目／H30－32）〈第47回地域再生計画認定〉**

○事業費 **67,600千円（国費1／2）**

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

「日本一健康文化都市」実現戦略

- ・ウェルビーイングを実現するまちづくり
出張保健センター、ICTコミュニティ情報発信、INFORMATION2961 など
- ・人生100年時代の暮らしを先取るひとや地域のイノベーション
特色ある地域づくり推進、未来の教室実証研究 など

○事業名 **生涯現役促進地域連携事業（2年目／H29－31）**

○事業費 **20,099千円（国費10／10）**

○交付要件 国は協議会の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

ふくろいTaskAruネットワーク（3 Days Worker's Office構想推進）事業

- ・高齢者の担い手づくり（職場見学会、就労体験、職能訓練の実施）
- ・新しい働き方・しごとづくり（需給双方による検討）
- ・高齢者・企業双方への普及啓発とネットワークづくり

第11弾

㊸当初

総額：195,000千円

- 交付金名 **地方創生推進交付金（2年目／H30-32）〈第47回地域再生計画認定〉**
- 事業費 **138,000千円（国費1／2）**
- 交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考
- 施策の概要
 - 「稼ぐチカラ」向上戦略**
 - ・地域資源の融合・変化による新たな価値創出と地域内の「稼ぐチカラ」強化
商店街・風鈴まつり×イルミネーション・ライトアップ、自動運転走行実証 など
 - ・メガイベントを契機とした「まちの魅力」の最大化とコトづくり
ラグビーW杯に向けた誘客、ICTとSNSを活用した魅力発信 など

- 交付金名 **地方創生推進交付金（2年目／H30-32）〈第47回地域再生計画認定〉**
- 事業費 **57,000千円（国費1／2）**
- 交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考
- 施策の概要
 - 「日本一健康文化都市」実現戦略**
 - ・ウェルビーイングを実現するまちづくり
出張保健センター、ICTコミュニティ情報発信、INFORMATION2961 など
 - ・人生100年時代の暮らしを先取るひとや地域のイノベーション
特色ある地域づくり推進、未来の教室実証研究 など

第12弾

㊸交付（国委託事業）

総額：20,108千円

- 事業名 **生涯現役促進地域連携事業（3年目／H29-31）**
- 事業費 **20,108千円（国費10／10）**
- 交付要件 国は協議会の提案を受け、先導的な取組を審査・選考
- 施策の概要
 - ふくろいTaskAruネットワーク（3 Days Worker's Office構想推進）事業**
 - ・高齢者の担い手づくり（職場見学会、就労体験、職能訓練の実施）
 - ・新しい働き方・しごとづくり（需給双方による検討）
 - ・高齢者・企業双方への普及啓発とネットワークづくり

第13弾

②当初

総額：151,500千円

○交付金名 **地方創生推進交付金（3年目／H30－R2）〈第47回地域再生計画認定〉**

○事業費 **95,000千円（国費1／2）**

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

「稼ぐチカラ」向上戦略

- ・地域資源の融合・変化による新たな価値創出と地域内の「稼ぐチカラ」強化
夜宵プロジェクト、ミズベリング、サイクルロードレース、自動運転走行実証 など
- ・メガイイベントを契機とした「まちの魅力」の最大化とコトづくり
ラグビーW杯関連事業、ICT・SNSを活用したシティプロモーション など

○交付金名 **地方創生推進交付金（3年目／H30－R2）〈第47回地域再生計画認定〉**

○事業費 **56,500千円（国費1／2）**

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

「日本一健康文化都市」実現戦略

- ・ウェルビーイングを実現するまちづくり
出張保健センター、ICTコミュニティ情報発信、INFORMATION2961 など
- ・人生100年時代の暮らしを先取るひとや地域のイノベーション
特色ある地域づくり推進、未来の教室実証研究 など

第14弾

②9月補正

総額：30,000千円

○交付金名 **地方創生推進交付金（1年目／R2－R4）〈第57回地域再生計画認定〉**

○事業費 **30,000千円（国費1／2）**

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

「誰もが元気で活躍できるまちづくり」戦略

- ・「全世代が活躍するまちづくり」への挑戦
人生100年時代の地域経営のあり方の調査研究
- ・支え合う多様な仲間づくりへの挑戦
ICTを活用した実証事業

第15弾 ③当初

総額：116,000千円

- 交付金名 地方創生推進交付金（2年目／R2－R4）〈第57回地域再生計画認定〉
- 事業費 116,000千円（国費1／2）
- 交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考
- 施策の概要

「誰もが元気で活躍できるまちづくり」戦略

- ・「全世代が活躍するまちづくり」への挑戦
人生100年時代の地域経営のあり方の調査研究、フッピ－健康ポイント など
- ・支え合う多様な仲間づくりへの挑戦
ICTを活用した地域課題解決、地域コミュニティ情報発信 など
- ・多様性を強みとするまちづくりへの挑戦
まちの国際化、小中学校英語力向上、青少年指導者養成 など

第16弾 ②当初

総額：116,000千円

- 交付金名 地方創生推進交付金（3年目／R2－R4）〈第57回地域再生計画認定〉
- 事業費 116,000千円（国費1／2）
- 交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考
- 施策の概要

「誰もが元気で活躍できるまちづくり」戦略

- ・「全世代が活躍するまちづくり」への挑戦
人生100年時代の地域経営のあり方の調査研究、フッピ－健康ポイント など
- ・支え合う多様な仲間づくりへの挑戦
ICTを活用した地域課題解決、地域コミュニティ情報発信 など
- ・多様性を強みとするまちづくりへの挑戦
まちの国際化、小中学校英語力向上、青少年指導者養成 など

輝く“ふくろい”まち・ひと・しごと・創生会議

地方創生の実現に向けた取組の加速・深化を目的として、各々の専門分野から幅広く意見をいただくとともに、政策立案に向けた議論を行うため、市内（県内）及び首都圏で幅広く活躍されている産学官の代表者らにより構成する「ふくろい部会」・「首都圏部会」、市内金融機関等の支店長により構成する「金融機関支店長会議」を次のとおりそれぞれ設置し、会議を開催している。



ふくろい部会



首都圏部会



金融機関支店長会議

(1) 地方創生会議委員名簿 (R5.5 末現在/順不同・敬称略)

【ふくろい部会】

所属	役職	氏名	所属	役職	氏名
(株)杏林堂薬局	取締役副会長	青田 英行	農林環境専門職大学	学長	鈴木 滋彦
ReaLabo (料理講師、ITサポート)	代表	足立 美和	袋井商工会議所	会頭	豊田 浩子
山名学園山名幼稚園	理事長	諸井 理恵	静岡理工科大学	事務局長	久留島 康仁
安間製茶	代表	安間 孝介	アスリートクラブ	主宰	岡田 千詠子
袋井市観光協会	理事	大場 和明	静岡大学情報学部	教授	遊橋 裕泰
日本貿易振興機構浜松貿易情報センター	所長	永盛 明洋			

【首都圏部会】

所属	役職	氏名	所属	役職	氏名
凸版印刷(株)	特別相談役	足立 直樹	ココカラファイン(株)	代表取締役社長	塚本 厚志
(株)大和総研	主席研究員	内野 逸勢	イービストレード(株)	代表取締役社長	寺井 良治
ネオファーマジャパン(株)	代表取締役	河田 聡史	(株)大和コンピューター	代表取締役社長	中村 憲司
(株)三菱総合研究所	主席研究員	北井 渉	楽天カード(株)	常務執行役員	幡鎌 大介
(株)JTBコミュニケーションデザイン	取締役兼総合企画部長	鈴木 良照	(株)コクーン	取締役兼プロデューサー	松本 朋丈
(株)ポーラ・オルビス・ホールディングス	執行役員	末延 則子	(株)JSOL	代表取締役兼専務執行役員	名倉 明彦

【金融機関支店長会議】

静岡銀行	スルガ銀行	清水銀行	静岡県労働金庫	浜松磐田信用金庫
島田掛川信用金庫	遠州中央農業協同組合	日本政策金融公庫		

(2) 地方創生会議開催状況

【ふくろい部会（委員：6人【～H30】、10人【R元～】）】

No.	開催日	場所	内容
1	H27.5.19（火）	袋井市役所	袋井版「総合戦略」の方向性について
2	H27.7.21（火）	袋井市役所	袋井版「総合戦略」について①人口ビジョン（素案）②政策パッケージ（骨子案）
3	H28.6.29（月）	袋井市役所	地方創生事業評価、政策立案に向けた意見交換、企業版ふるさと納税
4	H29.6.28（水）	袋井市役所	地方創生事業評価、政策立案に向けた意見交換
5	H30.6.27（水）	袋井市役所	地方創生事業評価、政策立案に向けた意見交換
6	R元.7.8（月）	袋井市役所	地方創生事業評価、第1期総合戦略の総括、第2期総合戦略策定に向けた意見交換
7	R2.2.13（木）	袋井市役所	第2期総合戦略素案について、意見交換
8	R2.7.6（月）	袋井新産業会館	地方創生事業評価、アフターコロナの経済社会に向けた成長戦略について意見交換
9	R3.11.8（月）	袋井新産業会館	地方創生事業評価、アフターコロナの社会について意見交換
10	R4.7.21（木）	袋井教育会館	地方創生事業評価、アフターコロナの社会について意見交換

【首都圏部会（委員：10人）】

No.	開催日	場所	内容
1	H27.5.12（火）	都市センターホテル	袋井版「総合戦略」の方向性について
2	H27.7.31（金）	都市センターホテル	袋井版「総合戦略」について①人口ビジョン（素案）②政策パッケージ（骨子案）
3	H28.7.3（月）	都市センターホテル	地方創生事業評価、政策立案に向けた意見交換、企業版ふるさと納税
4	H29.7.3（月）	都市センターホテル	地方創生事業評価、政策立案に向けた意見交換
5	H30.7.3（火）	都市センターホテル	地方創生事業評価、政策立案に向けた意見交換
6	R元.7.1（月）	都市センターホテル	地方創生事業評価、第1期総合戦略の総括、第2期総合戦略策定に向けた意見交換
7	R2.2.12（水）	NIPPON GALLERY	第2期総合戦略素案について、意見交換
令和2・3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により個別に意見聴取			
8	R4.12.21（水）	東京グリーンパレス	地方創生事業評価、意見交換

【金融機関支店長会議（委員：8人）】

No.	開催日	場所	内容
1	H27.5.26（火）	袋井市役所	袋井版「総合戦略」策定方針について
2	H27.7.29（水）	袋井市役所	袋井版「総合戦略」について①人口ビジョン（素案）②政策パッケージ（骨子案）
3	H27.10.20（金）	袋井市役所	袋井版「総合戦略」について①人口ビジョン②総合戦略／政策パッケージ
4	H28.3.2（水）	袋井市役所	地域内の就労に関する需要供給調査について（調査依頼）
5	H28.7.22（金）	袋井市役所	地域内の就労に関する需要供給調査について
6	H29.2.15（水）	袋井市役所	平成29年度当初予算の概要について、3 Days Worker's Office構想について
7	H29.11.1（水）	袋井市役所	平成28年度地方創生取組結果の概要政策立案に向けた意見交換
8	H30.8.23（木）	袋井市総合センター	平成29年度地方創生取組結果及び平成30年度取組の概要政策立案に向けた意見交換
9	R元.7.17（水）	袋井市役所	地方創生事業評価、第1期総合戦略の総括、第2期総合戦略策定に向けた意見交換
10	R2.3.2（月）	袋井市総合センター	第2期総合戦略素案について、意見交換
11	R2.7.15（火）	袋井市役所	地方創生事業評価、アフターコロナの経済社会に向けた成長戦略について意見交換、地方創生の推進に係る連携協定について
12	R3.12.10（金）	袋井市役所	地方創生事業評価、地域の現状と国の新たな経済対策を踏まえた今後の展開方策について意見交換
13	R4.8.24（水）	袋井市役所	地方創生事業評価、ふるさと納税制度の仕組みを活用した、「稼ぐチカラ」のある市内事業者の育成に向けた

地方創生の実現に向けた「政策勉強会」

地方創生の実現に向け、時代をリードする新技術や価値観などに携わる有識者を招聘し、知識を深めるとともに、政策立案につなげていくことを目的として、市長をはじめ、庁内幹部職員及び市議会、商工会議所等関係団体を対象とした「政策勉強会」を開催している。

No.	開催日	場所	内容
1	H27.12.19 (土)	エコパ スタジアム	ラグビーワールドカップの魅力について 【講師】ラグビーワールドカップ2019組織委員会 事業部長 伊達亮氏 メガスポーツイベントを契機とした新たなまちづくり 【講師】EY総合研究所(株) 未来社会・産業研究部長 小川高志氏
2	H28.1.21 (木)	袋井市役所	労働市場の今後と政策課題 ～高齢者就労の実態～ 【講師】(株)リクルートワークス研究所 主任研究員 戸田淳仁氏
3	H28.2.18 (木)	袋井市役所	ホームステイ×まちの国際化 ～我が家は、ときどきインターナショナル～ 【講師】Homestay in Japan/(株)ネクステージ 代表取締役 竹島千歳氏
4	H28.11.9 (水)	袋井市役所	I C Tまちづくりの近況と今後の展望について 【講師】東京大学大学院情報学環 教授 須藤修氏
5	H29.9.1 (金)	袋井市役所	シェアリングエコノミーをめぐる近況と今後の展望について 【講師】(一社)シェアリングエコノミー協会 内閣官房シェアリングエコノミー伝道師 積田有平氏
6	H30.12.25 (火)	袋井市役所	変化の激しい時代を生きる子ども達のこれからの教育とは 【講師】小金井市立前原小学校校長 松田孝氏、 Google Japan Google for Education マーケティング統括部長 スチュアート・ミラー氏
7	H31.3.15 (金)	袋井市役所	地域所得力調査の結果から見る袋井の現状と課題 【講師】(一財)静岡経済研究所調査研究部長 山田慎也氏
8	R元.6.25 (火)	袋井市役所	塩尻市に見る産学官民による地域I C Tの推進 【講師】総務省地域情報化アドバイザー 金子春雄氏
9	R元.12.17 (火)	袋井市役所	データから見る袋井市の地域経済の実態について 【講師】(株)価値総合研究所 主席研究員 山崎清氏
10	R3.11.9 (火)	袋井市役所	データから見る袋井市の地域経済の実態について 【講師】(株)価値総合研究所 主席研究員 山崎清氏
11	R4.12.14 (水)	袋井新産業会館	若年層の就業観と“働きがい”を測るワーク・エンゲージメントの実態 【講師】(株)静岡総合研究所 主席研究員 岩間晴美氏

金融機関との連携強化／地方創生の推進に係る連携協定

地方創生の実現に向け、各々の強みを活かした特色ある連携や取組を展開するため、次のとおり個別に「取組テーマ」を設定し、連携協定を締結した。

(1) 連携協定の状況

No.	金融機関名	調印日	取組テーマ
1	磐田信用金庫	H27.9.7	「農業」と「食」に関すること (例) 新規就農者等の創業支援
2	静岡銀行	H28.1.19	「健康」をキーワードにした施策連携 (例) 産業×健康づくりほか
3	浜松信用金庫	H28.1.21	アウトバウンド戦略とインバウンド戦略 (例) 農産物の海外輸出と観光PR
4	掛川信用金庫	H28.2.15	潜在的な労働力の発掘 (例) 女性の活躍などの創業支援
5	遠州中央農業協同組合	H28.2.18	競争力のある商品づくり (例) ふるさと納税返礼品の充実
6	スルガ銀行	H28.3.14	まちの賑わいづくり (例) 空き店舗の利活用
7	静岡県労働金庫	H28.3.17	若者〔勤労者〕の定住促進 (例) 住まい方など将来設計への助言
8	清水銀行	H28.3.25	地域を担う人材育成の推進 (例) 実践的な金融経済教育の普及

(2) 金融機関との連携による取組事例

■ 共通事項 (全ての金融機関が参画)

- ・地域内就労需要供給実態調査
- ・金融機関支店長会議

■ 個別事項

- ・磐田信用金庫 特産品PRイベント仲介 (山口県宇部市)
- ・静岡銀行 地方創生特設PRブース設置 (袋井支店)
- ・浜松信用金庫 クラウンメロンのタイ輸出支援
クラウドファンディング推進
- ・遠州中央農業協同組合 農協祭での健康づくりPR
- ・スルガ銀行 法多山門前再興プロジェクト
- ・静岡県労働金庫 ろうきん遠友会住宅フェスティバルでの定住PR

民間企業等との連携強化／地方創生の推進に係る連携協定

No.	企業等名	調印日	取組テーマ
1	凸版印刷(株)	R3.1.29	ICTの推進、市民サービスの向上、地域の産業振興・中小企業の支援、地域づくり・地域活性化 など
2	袋井商業高校、袋井高校、特別支援学校	R3.12.23	社会教育及び学校教育の充実や人材育成、まちづくりへの参画、地域産業の振興及び新産業の創出、地域づくり・地域活性化 など
3	あいおいニッセイ同和損害保険(株)浜松支店	R5.1.27	地域・暮らしの安全・安心、防災・災害対策、健康増進・介護支援、産業振興・中小企業支援、文化・スポーツ振興 など

外部人材の登用

No.	分野	氏名	役職	派遣元	任期
1	ICT	山本 明央	理事	総務省	H31.4~R3.7
2	デジタル	鈴木 一生	専門官	(株)NTTドコモ	R2.4~R4.3
3	ICT教育	柏 萌 菜 美	専門官	凸版印刷(株)	R3.4~R4.3
4	ICT教育	一ノ宮 美香	専門官	凸版印刷(株)	R3.4~R5.3
5	シティプロモーション	神谷 高宏	専門官	(株)JTB	R4.4~
6	ICT	小 俣 一 樹	専門官	(株)NTTドコモ	R4.4~
7	ICT	鳴 瀬 邦 彦	専門官	コニカミノルタパブリテック(株)	R4.4~
8	ICT	平 山 高 士	専門官	(株)日立システムズ	R4.4~

挑戦する人を応援するまち



ふくろい
FUKUROI